

2 中山間地域における移動手段確保対策の県内取り組み事例集



(令和2年3月31日時点)

市町村名	導入区間・地域	導入形態	導入時期 (運行開始時期)
高知市	鏡地域、土佐山地域 春野地域	デマンド型乗合タクシー (区域・路線不定期運行)	平成25年10月～ 平成29年10月～
南国市	・上倉・黒滝方面7部落及び瓶岩地区 ・白木谷・八京地区	デマンド型乗合タクシー (区域運行)	・平成24年10月～ ・平成26年4月～
土佐市	・高岡～新居・宇佐方面 ・高岡～波介・戸波・北原方面	路線バス(民営) (路線定期運行)	平成22年4月～
宿毛市	・楠山、栄喜、舟ノ川、出井、藻津	市運営有償運送 (路線定期運行 ※一部デマンド運行)	平成28年10月～
土佐清水市	下ノ加江地区、三崎・下川口地区	デマンド型乗合タクシー (区域運行)	平成25年10月～
四万十市	・西土佐地域、中村地域(後川エリア) ・中村地域(富山・藤岡エリア)	デマンド型乗合タクシー、 バス(区域運行)※一部路線定期運行	・平成23年3月～ ・平成24年3月～
	・中村地域(八束地区)	デマンド型乗合タクシー (路線不定期運行)	平成25年10月～
香南市	市内全域	市運営有償運送 (路線定期運行※一部デマンド運行)	平成19年3月～
本山町	町内全域	町営有償運送 (路線定期運行)	令和元年10月～
大豊町	町内全域～役場周辺・高知市内など 7か所	デマンド型乗合タクシー (区域運行)	平成18年5月～
いの町	①小野地区②毛田、成山地区 ③吾北、中追、横藪・蔭地区	デマンド型乗合タクシー ①②(路線定期運行) ③(区域運行)	①平成19年9月～ ②平成20年10月～ ③平成24年6月～
	本川地区	公共交通空白地有償運送 運行:いの町社会福祉協議会	平成23年4月～
仁淀川町	町内全域	町運営有償運送 (路線定期運行※一部デマンド運行)	平成19年8月～
中土佐町	久礼地区、大野見地区	路線バス(民営) (路線定期運行)	平成25年10月～
佐川町	町内全域	町運営有償運送 (路線定期運行※一部デマンド運行)	平成29年10月～
津野町	町内全域	町運営有償運送 (路線定期運行)	平成30年10月～
檮原町	初瀬区、松原区	公共交通空白地有償運送運行:NPO法人 絆	平成23年5月～
四万十町	①十和地区②大正地区③窪川地区	路線バス(民営) (路線定期運行)	①平成23年9月～ ②平成24年10月～ ③平成25年12月～
黒潮町	町内全域	路線バス(民営) (路線定期運行※一部デマンド運行)	昭和46年4月～ ※平成25年5月～

高知市 鏡地域 「愛あい号」		導入形態	デマンド型乗合タクシー		
		導入地区 (導入開始)	鏡地域 (実証運行 H24. 10. 1～H25. 9. 30) (本格運行 H25. 10. 1～ 運行中)		
運行主体	有限会社さくらハイヤー				
運行台数	4台				
運行形態・便数	形態 区域運行 (路線バスの発着時刻に合わせた時間設定) 便数 <u>川口便</u> ・ <u>鳥越便</u> 共通 乗換ポイント・のりおりば行き 平日: 4便 土日祝: 3便 ご自宅付近行き 平日: 4便 土日祝: 3便 ※ 乗換ポイント 2ヶ所・のりおりば 4ヶ所 (乗換ポイント, のりおりばの場所については次ページ参照)				
運行日	毎日				
運賃	1乗車 <u>川口便</u> 大人 (中学生以上) 300円 小学生 150円 <u>鳥越便</u> 大人 (中学生以上) 500円 小学生 250円 <u>共通</u> 未就学児 (保護者同伴に限る) 無料 身体障がい者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者及び介助者 半額				
予約受付	予約受付 24時間受付 (毎日) 予約締切 各便の予約締切時間までに電話またはファクスにて連絡				
協議機関	高知市地域公共交通会議 (構成員 学識経験者, 公共交通事業者, 住民代表, 高知運輸支局, 事業用自動車運転手が組織する団体, 警察, 道路管理者, 高知市)				
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域内フィーダー系統), 過疎債				
利用実績					
	H27. 10～H28. 9	H28. 10～H29. 9	H29. 10～H30. 9	H30. 10～R1. 9	
運行回数	951回	943回	1,347回	1,651回	
利用人数	1,173人	1,122人	1,524人	2,008人	
運賃収入	307,050円	292,650円	541,850円	722,350円	
運行費補助金	3,749,610円	3,551,130円	4,279,970円	5,381,510円	
運行費補助金算出方法 (本格運行後 (H25. 10～)) (1 運行単価+時間距離併用運賃-運賃) の総和					
運行に至った経過・作業等					
平成 22 年度	H22. 10～H23. 1	鏡地域住民意識アンケート調査・鏡地域意見交換会 (1回)			
	H23. 3	高知市地域公共交通総合連携計画 策定			
平成 23 年度	H23. 7～H23. 9	鏡地域意見交換会 (3回)			
	H23. 11	実証運行に係る提案書			
平成 24 年度	H24. 6～H25. 3	鏡地域意見交換会 (3回)			
	H24. 6	実証運行事業者 選定			
	H24. 7～H24. 9	各地区説明会 (9回)			
	H24. 8	乗合タクシー許可申請 (道路運送法第 21 条)			
	H24. 10	実証運行 開始			
	H24. 11	鏡地域デマンド型乗合タクシー実証運行アンケート調査			
平成 25 年度	H25. 4	本格運行に係る提案書			
	H25. 5	本格運行事業者 選定 (公募型プロポーザル方式による) 生活交通ネットワーク計画 (地域内フィーダー系統確保維持計画) 策定			
	H25. 6	乗合タクシー許可申請 (道路運送法第 4 条)			
	H25. 10	本格運行 開始			
今後に向けての課題					
今後も利用状況や地域の要望等を踏まえ, 地域のニーズに合った地域公共交通となるように運行内容の改善を検討します。					

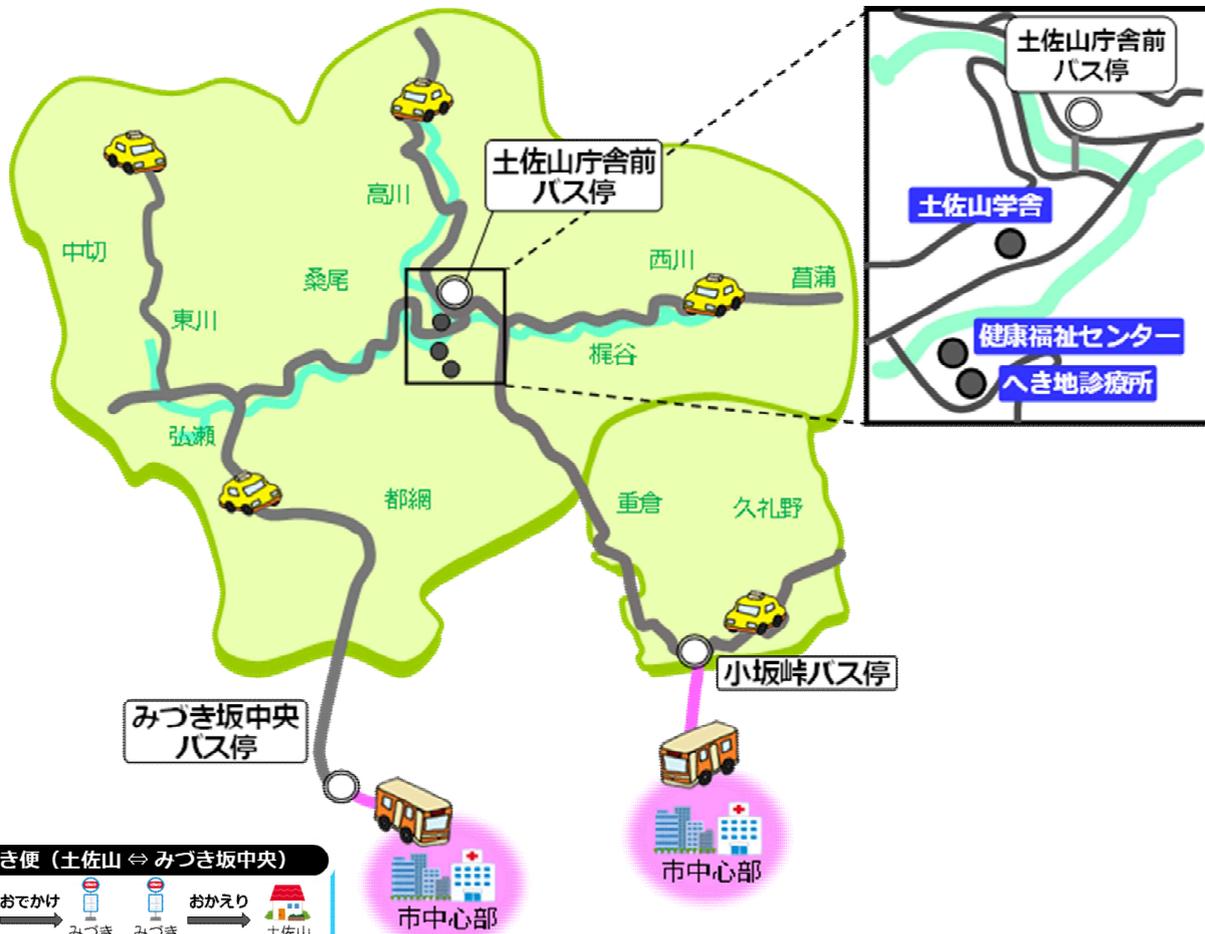
高知市 土佐山地域 「かわせみ号」		導入形態	デマンド型乗合タクシー	
		導入地区 (導入開始)	土佐山地域 (実証運行 H24. 10. 1～H25. 9. 30) (本格運行 H25. 10. 1～ 運行中)	
運行主体	株式会社第二さくら交通			
運行台数	5台			
運行形態・便数	形態 区域運行 (路線バスの発着時刻に合わせた時間設定)			
	便数	平日	土佐山庁舎便 小坂峠便 みづき便	乗換ポイント・のりおりば行き 乗換ポイント行き 乗換ポイント行き
運行形態・便数	土日祝	土佐山庁舎便 小坂峠便 みづき便	乗換ポイント・のりおりば行き 乗換ポイント行き 乗換ポイント行き	9便 / ご自宅付近行き 9便 7便 / ご自宅付近行き 6便 4便 / ご自宅付近行き 4便 4便 / ご自宅付近行き 4便 3便 / ご自宅付近行き 3便 4便 / ご自宅付近行き 4便
	※乗換ポイント3ヶ所・のりおりば1ヶ所 (乗換ポイント, のりおりばの場所については次ページ参照)			
運行日	毎日			
運賃	1乗車	土佐山庁舎便 小坂峠便 みづき便 共通	大人 (中学生以上) 300円 大人 (中学生以上) 400円 大人 (中学生以上) 500円 未就学児 (保護者同伴に限る)	小学生 150円 小学生 200円 小学生 250円 無料
	身体障がい者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者及び介助者 半額			
予約受付	予約受付 24時間受付 (毎日) 予約締切 各便の予約締切時間までに電話またはファクスにて連絡			
協議機関	高知市地域公共交通会議 (構成員 学識経験者, 公共交通事業者, 住民代表, 高知運輸支局, 事業用自動車運転手が組織する団体, 警察, 道路管理者, 高知市)			
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域内フィーダー系統), 過疎債			
利用実績				
	H27. 10～H28. 9	H28. 10～H29. 9	H29. 10～H30. 9	H30. 10～R1. 9
運行回数	1, 124回	1, 207回	1, 954回	4, 546回
利用人数	1, 336人	1, 346人	2, 366人	10, 138人
運賃収入	419, 300円	403, 650円	611, 550円	609, 800円
運行補助金	3, 580, 340円	3, 822, 630円	5, 036, 050円	8, 800, 740円
運行費補助金算出方法 (本格運行後 (H25. 10～))				
	土佐山庁舎便 (1運行単価+時間距離併用運賃-運賃) の総和		小坂峠便・みづき便 (時間距離併用運賃-運賃) の総和	
運行に至った経過・作業等				
平成22年度	H22. 10～H23. 1	土佐山地域住民意識調査アンケート・土佐山地域意見交換会 (1回)		
	H23. 3	高知市地域公共交通総合連携計画 策定		
平成23年度	H23. 3～H23. 9	土佐山地域意見交換会 (3回)		
	H23. 12	実証運行に係る提案書		
平成24年度	H24. 5～H25. 3	土佐山地域意見交換会 (4回)		
	H24. 6	実証運行事業者 選定		
	H24. 7～H24. 9	各地区説明会 (11回)		
	H24. 8	乗合タクシー許可申請 (道路運送法第21条)		
	H24. 10	実証運行 開始		
平成25年度	H24. 11	土佐山地域デマンド型乗合タクシー実証運行アンケート調査		
	H25. 4	本格運行に係る提案書		
	H25. 5	本格運行事業者 選定 (公募型プロポーザル方式による) 生活交通ネットワーク計画 (地域内フィーダー系統確保維持計画) 策定		
	H25. 6	乗合タクシー許可申請 (道路運送法第4条)		
	H25. 10	本格運行 開始		
今後に向けての課題				
今後も利用状況等を踏まえ, 地域のニーズに合った地域公共交通となるよう運行内容の改善を検討します。				

デマンド型乗合タクシー
かわせみ号

デマンド型乗合タクシー
かわせみ号
区域乗合

かわせみ号とは

- 土佐山地域の“ご自宅近く”から「土佐山庁舎前バス停」「小坂峠バス停」「みづき坂中央バス停」へ運行する、“公共交通”です。
「土佐山学舎」「土佐山へき地診療所」「健康福祉センター たきゆり」へも運行します。
- 利用するには“事前予約”が必要です。また、予約があればお1人でも運行します。
- バス停でバスに乗り換えて、市中心部へ行くことができます。

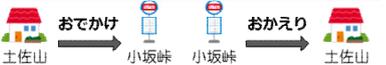


みづき便 (土佐山 ⇄ みづき坂中央)



おでかけ		おかえり	
平日	土日祝	平日	土日祝
7:30着	7:43着	12:10発	11:01発
9:35着	9:25着	14:55発	13:41発
12:05着	11:00着	16:50発	16:11発
14:55着	13:40着	17:55発	18:05発

小坂峠便 (土佐山 ⇄ 小坂峠)



おでかけ		おかえり	
平日	土日祝	平日	土日祝
7:09着	7:30着	9:52発	13:32発
9:10着	9:20着	11:37発	15:52発
10:00着	12:50着	13:12発	18:22発
10:55着		14:52発	
12:30着		16:52発	
14:10着		18:22発	
16:10着			

土佐山庁舎便 (土佐山 ⇄ 土佐山庁舎前)



おでかけ		おかえり	
平日	土日祝	平日	土日祝
6:55着	7:15着	10:09発	13:49発
8:10着	8:10着	11:10発	15:00発
8:55着	9:05着	11:54発	16:09発
9:45着	12:35着	13:29発	18:39発
10:40着		14:10発	
12:15着		15:35発	
13:55着		16:30発	
14:50着		17:09発	
15:55着		18:39発	

※土佐山学舎、へき地診療所、健康福祉センターへも運行します。

予約先 株式会社 第二さくら交通

フリーダイヤル：0120-03-1241
電話番号：088-831-8088
予約受付：24時間対応
予約締切：出発の1時間前
おでかけの朝1便目は前日17:30

運行日：毎日

運賃	大人	小人	未就学児
土佐山庁舎便	300円	150円	無料
小坂峠便	400円	200円	無料
みづき便	500円	250円	無料

- ・障がい者手帳の所持者・介助者は半額
- ・土佐山へき地診療所への利用は無料
- ・土佐山学舎への通学利用は無料(※)
- (※土佐山学舎に事前に申請されている方が対象です)

ご利用の流れ

電話予約

土佐山〇番地の〇〇です
土佐山庁舎便の8:55着に
乗りたいので**自宅へ**
お願いします

予約受付

お迎えの時間と場所
を折り返し電話します

折り返し電話

自宅近くに8時30分に
お迎えにあがります
他の予約者がいます
ので乗合となります

乗合タクシー

他の予約者と乗り合い
ながら**土佐山庁舎前**
バス停まで運行します

高知市 春野地域 「はるちゃん号(北・南ルート)・しおかぜ号」		導入形態	デマンド型乗合タクシー	
		導入地区 (導入開始)	春野地域 (実証運行 H28. 10. 1～H29. 9. 30) (本格運行 H29. 10. 1～ 運行中)	
運行主体	有限会社第一さくら交通			
運行台数	4台			
運行形態・便数	形態 路線運行 (路線バスの発着時刻に合わせた時間設定) 便数 はるちゃん号北ルート・はるちゃん号南ルート・しおかぜ号共通 瀬戸団地南口方面行き 平日・土日祝 8便 新川通方面行き 平日・土日祝 8便 乗換ポイント 4ヶ所 (運行路線, 乗換ポイントについては次ページ参照)			
運行日	毎日			
運賃	1乗車 春野地域から春野地域への利用 大人(中学生以上) 300円 小学生 150円 春野地域から長浜地域への利用 大人(中学生以上) 300円 小学生 150円 長浜地域から長浜地域への利用 大人(中学生以上) 200円 小学生 100円 共通 未就学児(保護者同伴に限る) 無料 身体障がい者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者及び介助者 半額			
予約受付	予約受付 24時間受付(毎日) 予約締切 各便の予約締切時間までに電話またはファクスにて連絡			
協議機関	高知市地域公共交通会議 (構成員 学識経験者, 公共交通事業者, 住民代表, 高知運輸支局, 事業用自動車運転手が組織する団体, 警察, 道路管理者, 高知市)			
財源対策				
利用実績				
		H28. 10～H29. 9	H29. 10～H30. 9	H30. 10～R1. 9
運行回数		2,843回	4,207回	4,771回
利用人数		3,632人	6,154人	7,011人
運賃収入		987,900円	1,644,050円	1,829,250円
運行費補助金		4,185,160円	7,454,310円	8,276,950円
運行費補助金算出方法 (時間距離併用運賃－運賃)の総和				
運行に至った経過・作業等				
平成22年度	H22. 10～H23. 1	春野地域住民意識アンケート調査・春野地域意見交換会(1回)		
	H23. 3	高知市地域公共交通総合連携計画策定・春野地域意見交換会		
平成23年度	H23. 6	春野地域意見交換会		
平成24年度	H24. 12～H25. 3	春野地域の交通現況調査		
平成27年度	H27. 8～H27. 12	春野地域意見交換会(2回)		
	H28. 3	各地区説明会(10回)		
平成28年度	H28. 5	運行事業者選定		
	H28. 6	高知市地域公共交通網形成計画策定		
	H28. 8	乗合タクシー許可申請(道路運送法第21条)		
	H28. 10	実証運行 開始		
	H28. 12	春野地域デマンド型乗合タクシー実証運行アンケート調査		
	H29. 3	本格運行案に係る春野地域意見交換会		
平成29年度	H29. 6	乗合タクシー許可申請(道路運送法第4条)		
	H29. 10	本格運行 開始		
今後に向けての課題				
今後も利用状況や地域の要望等を踏まえ, 地域のニーズに合った地域公共交通となるように運行内容の改善を検討します。				

公共交通 予約(デマンド)型乗合タクシー

はるちゃん号しおかぜ号

- 路線バスのように、ルートとダイヤが決まっている“予約型乗合タクシー”です
- 利用するには**予約が必要**です（予約があればお1人でも運行します）
- 新川通・JAはるの・長浜・瀬戸では、バスに乗り換えることができます
- ルート上であれば、**どこでも乗り降り**できます（フリー乗降制）



デマンド型乗合タクシー
はるちゃん号
区域乗合

デマンド型乗合タクシー
しおかぜ号
区域乗合

車両にはられた はるちゃん号、しおかぜ号のステッカーが目印です。

運賃 (3ルート共通)		降りるところ			
		春野		長浜・瀬戸	
乗るところ	春野	小学生	大人	小学生	
	長浜・瀬戸	300円	150円	300円	150円
			200円	100円	

※障がい者手帳をお持ちの方、介助者の方は半額（10円未満切り上げ）

※未就学児は無料

ご注意いただきたいこと

- キャンセルはお早めにご連絡ください。
- 時刻表は、各地点を通過する目安時刻です。
- 大きな荷物やペットは ご遠慮ください。



予約先
(3ルート共通)

(有)第一さくら交通

☎0120-03-1241

☎088-831-8088

- 予約受付: 24時間
- 予約締切: 出発の60分前
※朝①便目、②便目は
前日17:30締切

<p style="text-align: center;">南国市</p> <p style="text-align: center;">(乗合タクシー①「せいらん」 ②「うめの里交通」)</p>		導入形態	デマンド型乗合タクシー			
		導入地区 (導入開始)	①上倉・黒滝方面の7部落及び瓶岩地区 (H24.10月～ 7部落、 H25.10月～ 奈路部落全域にエリア拡大、 H26.10月～ 瓶岩地区(6部落)を追加) ②白木谷・八京地区(H26.4月～)			
運行主体	(有)いだいソイヤ ※公募型プロポーザル方式により、選定。					
運行台数	タクシー車両4台					
運行形態・便数	・区域運行+路線バスへの接続に合わせた時間設定 ・①1日行き5便(領石行き)、帰り5便(領石発)、自宅付近～領石バス停留所 (ほか領石出張所・病院前・農協前) ②1日行き5便(高知医大行き)、帰り5便(高知医大発)、自宅付近～白木谷通バス停～高知医大					
運行日	週5日(月～金) 祝日でも運行					
運賃	①1人 片道300円 ②自宅～高知医大間 1人 片道500円、自宅～白木谷通バス停間 1人 片道300円					
予約受付	①行き1・2便は利用日前日の18時までに運行事業者に予約。 ②行き1便は利用日前日の18時までに運行事業者に予約。 その他の便は、①②ともに利用当日の朝8時30分までに予約。※利用者登録が必要					
協議機関	南国市地域公共交通会議 (市、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県、警察、道路管理者、学識経験者 等)					
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内リーダー系統)					
利用実績						
	H27.10～H28.9	H28.10～H29.9	H29.10～H30.9	H30.10～R1.9	合計	
利用人数	349人	345人	556人	450人	1,700人	
運賃収入	184,900円	174,500円	290,200	228,150	877,750円	
※運行経費は、市から交通事業者に補助金として支出。 補助金額＝運行経費－運賃収入－国補助額						
運行に至った経過・作業等						
(H23年)5月	南国市地域公共交通会議 設立					
11月	アンケート調査、ヒアリング調査(利用者・交通事業者・事業者・医療機関・集落別)					
(H24年)3月	「南国市生活交通ネットワーク計画」調査報告書 作成					
10月	「せいらん」運行開始(上倉、中谷、黒滝、桑ノ川、中ノ川、大改野、奈路北(遠郷)) 白木谷・八京地区 アンケート調査					
(H25年)1月	瓶岩地区 アンケート調査(天行寺、成合、外山、亀岩、宍崎、才谷)					
5月	「せいらん」利用登録者アンケート調査					
10月	高知県交通バス路線・奈路～奈路分岐間の廃止に伴い、奈路部落全域に運行範囲拡大 白木谷・八京地区でスクールバス活用の実証運行開始(～H26.3月)					
(H26年)4月	白木谷・八京地区で乗合タクシー「うめの里交通」実証運行開始(～H26.9月)					
10月	白木谷・八京地区で「うめの里交通」運行開始、アンケート調査 瓶岩地区で「せいらん」運行開始					
(H29年)11月	利用登録者アンケート調査					
(H30年)10月	「せいらん」1便/1便増便 障がい者及び介助者割引導入					
(R1年)10月	運賃 全路線200円値下げ					
今後に向けての課題						
徐々に利用者の幅が広がりつつあり、中山間地域の住民の移動保障として維持していきたい。						

南国市
公共交通マップ
令和元年10月1日現在

路線バス・乗合タクシー 概要		
市町村間運行 バス路線	とさでん交通㈱	領石・南国オフィスパーク・田井線 潮見台／龍河洞線 前浜・パークタウン線 医大病院線
	高知東部交通㈱	安芸線
市内運行 バス路線	(有)日章ハイヤー	高知医大～久枝線 医療センター～十市～後免町線
	(有)いだいハイヤー	植田～JA高知病院線 前浜～JA高知病院線
乗合タクシー (エリア)	(有)いだいハイヤー	と領石の間 と白木谷通・医大の間
	(有)第二さくら交通	一宮線(刑務所～医大～宮) 美術館通線(医大～美術館通電停)



【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平24四第、第22号)】

土佐市 (「ドラゴンバス」)	導入形態	路線バス (民営)		
	導入地区 (導入開始)	①高岡～新居・宇佐方面 ②高岡～波介・戸波・北原方面 ※全ての便が、高岡経由で JR 伊野駅まで運行 (H24. 10 月～)		
運行主体	土佐市観光有限会社			
運行台数	2 台			
運行日・ 運行ルート	毎日運行 ①宇佐伊野線 高岡→新居→宇佐→高岡→伊野→高岡 高岡→伊野→高岡→新居→宇佐→高岡 ②市野々伊野線 高岡→波介→市野々→北原→高岡→伊野→高岡 高岡→伊野→高岡→波介→市野々→北原→高岡→伊野→高岡			
運賃	大人 300円 (高岡中心部～JR伊野駅は200円) 小人 100円 ※身体障害者は半額			
協議機関	土佐市地域公共交通会議 (市、住民代表、交通事業者、事業用自動車の運転手が組織する団体、高知運輸支局、県、警察、道路管理者等)			
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域内フィーダー系統)			
利用実績				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (半年分)
乗車人員	57,896人	58,141人	59,415人	30,276人
運賃収入	12,075,512円	12,226,105円	12,277,733円	6,621,505円
補助金※	35,637,797円	40,207,969円	39,064,599円	12,137,581円
	H27. 10. 1～H28. 9. 30	H28. 10. 1～H29. 9. 30	H29. 10. 1～H30. 9. 30	H30. 10. 1～H31. 3. 31
※運行経費の赤字分を補てんする形で支出。(令和元年度以降は委託金)				
運行に至った経過・作業等				
(H21 年) 4 月 土佐市地域公共交通会議設置 10 月 第 1 回土佐市地域公共交通会議 開催 (H22 年) 1 月 第 2 回土佐市地域公共交通会議 開催 高岡～用石・新居・宇佐・塚地地区を巡回するバスの運行を決定 4 月 土佐市ドラゴンバス 運行開始 (H23 年) 6 月 土佐市公共交通活性化検討委員会設置 「土佐市地域公共交通活性化計画」の検討のため ・市民アンケート調査 ・中学3年生保護者アンケート調査 ・バス利用者ヒアリング ・観光客ヒアリング ・鉄道利用者ヒアリング ・交通事業者ヒアリング (H24 年) 3 月 「土佐市公共交通活性化計画」策定 6 月 ドラゴンバス (新ルート) 運行事業者選定 (公募型プロポーザル) 10 月～ ドラゴンバス (新ルート) 運行開始 (H30 年) 10 月～ とさでん交通に代わり土佐市観光有限会社が運行主体として運行を開始				
今後に向けての課題				
市内を循環し、JR伊野駅にも延伸することで交流人口拡大に努めているが、依然市内には公共交通空白地域が存在することから、今後はその地域に対しても対策が必要である。				

運行路線図

運行路線図

どこから乗っても降りても
運賃は一律

大人300円 小人100円

この区間内は
大人200円

ド2(市野々-渡介エリア)

ド1(伊野エリア)

ド3(宇佐エリア)

乗継割引ポイント

バス↔バス

バス↔バス↔路面電車



ドラゴンバス専用定期券発売中

ドラゴンバス 運賃表	運賃	定期券
		1ヵ月
大人	300	6,000
	200	4,000
小人	100	2,000

備考 ドラゴンバス専用定期券
一般路線バスではご利用できません
障害者3割引

土佐市ポイント①②③

バス⇄バス



※乗継割引はそれぞれのポイント内での乗継ぎ(一時間以内)に限りです。
例) 【割引対象○】
西芝路車→中島乗車
【割引対象×】
井上病院前降車→変電所通乗車



【割引額】
土佐市P 100円
梅の木P 100円
伊野駅P 30円

土佐市コミュニティバス

土佐市ドラゴンバス

R1年
10月1日改正

どこから乗っても降りても運賃は一律

大人300円 小人100円

(※一部区間200円)

ドラゴンバス専用定期券発売中

市野々-伊野線車両

宇佐-伊野線車両

ICカード(ですか)も利用できます!!

お問い合わせ先/土佐市観光局 〒781-1102 土佐市高岡町乙2670-1 TEL(088)852-1237

土佐市ドラゴンバス(市野々-伊野線) ○印 日祝日は運休便です。

高岡営業所→高岡高校通→渡介→市野々→北原→高岡高校通→伊野駅→高岡高校通南→高岡営業所→(高知リハビリ学院、高知リハビリ専門職大学)

高岡営業所	高岡高校通	渡介	市野々	北原	高岡高校通	伊野駅	高岡高校通南	高岡営業所
08:10	08:14	08:22	08:27	08:30	08:33	08:36	08:41	08:43
08:30	08:34	08:42	08:47	08:50	08:53	08:56	09:01	09:03

(高知リハビリ学院、高知リハビリ専門職大学)→高岡営業所→高岡高校通→伊野駅→高岡高校通南→渡介→市野々→北原→高岡高校通→伊野駅→高岡高校通→高岡営業所

高岡営業所	高岡高校通	渡介	市野々	北原	高岡高校通	伊野駅	高岡高校通南	高岡営業所
10:35	10:39	10:43	10:47	10:53	10:59	10:59	11:02	11:09
13:24	13:29	13:33	13:37	13:43	13:49	13:49	13:52	13:59
15:50	15:54	15:58	16:02	16:08	16:14	16:23	16:26	16:33

土佐市ドラゴンバス(宇佐-伊野線) ○印 日祝日は運休便です。

高岡営業所→高岡高校通→南中島→宇佐→電→埋地→高岡高校通→天王梅の木第二→伊野駅→天王梅の木第二→高岡高校通→高岡営業所

高岡営業所	高岡高校通	南中島	宇佐	電	埋地	高岡高校通	天王梅の木第二	伊野駅	天王梅の木第二	高岡高校通	高岡営業所
05:45	05:49	05:54	05:56	06:03	06:09	06:13	06:16	06:18	06:23	06:27	06:34
7:26	7:30	7:35	7:45	7:51	7:58	7:58	8:02	8:08	8:14	8:18	8:27
13:00	13:04	13:09	13:11	13:16	13:25	13:29	13:32	13:36	13:42	13:48	13:57

(高知リハビリ学院、高知リハビリ専門職大学)→高岡営業所→高岡高校通→天王梅の木第二→伊野駅→天王梅の木第二→高岡高校通→南中島→宇佐→電→埋地→高岡高校通→高岡営業所

高岡営業所	高岡高校通	南中島	宇佐	電	埋地	高岡高校通	天王梅の木第二	伊野駅	天王梅の木第二	高岡高校通	高岡営業所
9:55	9:59	10:03	10:07	10:11	10:17	10:23	10:26	10:31	10:35	10:38	10:45
15:10	15:14	15:18	15:22	15:26	15:32	15:38	15:41	15:46	15:50	15:53	16:00
17:40	17:41	17:45	17:49	17:53	17:59	18:05	18:08	18:15	18:18	18:23	18:28

宿毛市 (コミュニティバス：はなちゃんバス)		導入形態	市町村運営有償運送 (交通空白輸送)											
		導入地区 (導入開始)	楠山線、栄喜線、舟ノ川線、出井線、藻津線 (実証運行 H28.10 ~ H29.9) 本格運行 H29.10 ~ 運行中)											
運行主体	宿毛市 ※丸三観光ハイヤー有限会社と業務委託契約を締結													
運行台数	14人乗り車両 2台 (宿毛市所有)													
運行日・ 運行ルート	月曜日：楠山線 火曜日：栄喜線 水曜日：舟ノ川線 (舟ノ川 - 旧石原小学校前間はデマンド運行) 木曜日：出井線 (出井駐車場公衆トイレ前 - 日平奥 - 楠山多目的集会所前間はデマンド運行) 金曜日：藻津線 ※国民の祝日及び国民の休日も運行 (ただし、12月29日～翌1月3日は運休) ※国道沿線以外はフリー乗降													
運賃	別添参照 ※小学生は大人運賃の半額 ※未就学児童は保護者同伴とし、保護者1人につき1人分無料 1人を超える場合は、1人につき小学生1人分の運賃 ※各種手帳交付者 (身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳) 及びその介護者 (1人につき1人まで) は半額免除													
協議機関	宿毛市地域公共交通会議 (市、事業者代表、市民代表、高知運輸支局、道路管理者、警察署職員、県 等)													
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金													
利用実績														
【平成30年10月～令和元年9月】														
月利用者数 (人)														
	期間計	前年比	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
楠山線	1,642	115%	172	166	144	138	100	126	136	88	121	150	121	180
栄喜線	2,345	106%	230	201	205	173	158	196	225	158	202	233	156	208
舟ノ川線	1,435	188%	111	88	120	116	119	136	91	136	120	146	91	161
出井線	1,512	107%	107	151	132	92	94	87	96	175	144	138	137	159
藻津線	1,786	117%	117	137	130	131	133	166	155	153	115	159	215	175
全路線	8,720	119%	737	743	731	650	604	711	703	710	702	826	720	883
運行に至った経過・作業等														
平成27年 : 宿毛市公共交通再編調査実施 平成28年10月：実証運行開始 →市内5路線及び市街地循環線 12月：運行路線の一部変更及び停留所の新設 →田村内科クリニック前・サングリーククリハラ前・エヴィ前を新設 平成29年1月：運行経路の一部変更 →市街地循環線を1周から1.5周に変更 3月：利用方法の変更 →市街地循環線区間を全経路フリー乗降区間に変更 8月：一部路線の廃止及び新設 →都賀ノ川線の廃止、西路線の新設 10月：実証運行終了に伴い、本格運行開始 運行ルート及びダイヤの大幅な変更、市街地循環線単独路線の廃止														
今後に向けての課題														
・利用者の増加及び利便性向上に向けた運行内容の見直し ・着手できていない交通空白地域における解消への取り組み ・より適した運行形態の検討														

土佐清水市 (デマンド交通：おでかけ号)		導入形態	デマンド型乗合タクシー		
		導入地区 (導入開始)	下ノ加江地区、三崎地区、下川口地区 (H25.10月～実証運行、H26.10月～本格運行)		
運行主体	下ノ加江地区：(有)足摺交通 三崎・下川口地区：龍串見残観光ハイヤー(有)				
運行台数	下ノ加江地区：セダン型1台、ジャンボタクシー1台 三崎・下川口地区：セダン型1台、ジャンボタクシー1台				
運行形態・便数	<ul style="list-style-type: none"> ・区域運行+路線バスへの接続に合わせた時間設定 ・地域⇒市街地：下ノ加江1日3便 下川口1日3便 ・市街地⇒地域：下ノ加江1日2便 下川口1日3便 ・三崎地区循環線：1日5便 				
運行日	月～土曜日(日・祝日、年始1/1～1/3は運休)				
運賃		エリア内	(エリアを越える) 区域内	区域外 (市街地まで)	
	下ノ加江地区	100円/回	早朝1便のみ区域拡大した料金を適用	下浦 600円/回	立石・布 800円/回
	三崎地区	100円/回	200円/回	600円/回	
	下川口地区	100円/回	200円/回	800円/回	
	※小人(小学生以下)及び障がい者及び免許返納者は半額。1歳未満の乳児、未就学児童(保護者同伴)は無料。 ※通学・通勤等に路線バスの定期券を購入している方は、その区間に限り無料。 ※10回乗ったら、1回の乗車が無料になるポイント割引を実施中。				
予約受付	9:00～17:00(日・祝日、年始1/1～1/3を除く) ※予約受付センター(NPO法人 ノアズアークが受託)で受付。 ※午前10時までの便は、前日予約。 それ以外は、下ノ加江地区・・・2時間前、三崎・下川口地区・・・1時間前までに予約。 ※事前の利用者登録は必要なし。				
協議機関	土佐清水市地域公共交通協議会 (市、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県、警察、道路管理者等)				
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統)				
利用実績					
		H28.10～H29.9月	H29.10～H30.9月	H30.10～R1.9月	合計
下ノ加江地区	利用人数	975人	1,007人	1,019人	3,001人
	運行収入	421,400円	495,350円	436,450円	1,353,200円
	運行経費	4,934,900円	5,042,300円	4,831,000円	14,808,200円
三崎・下川口地区	利用人数	2,275人	2,266人	2,755人	7,296人
	運行収入	915,750円	830,450円	933,300円	2,679,500円
	運行経費	9,390,900円	8,903,600円	9,365,500円	27,660,000円
運行に至った経過・作業等					
(H24年) 5～6月「協働による地域内移動システム構築事業」により、生活路線バスの経由地でない下ノ加江・三崎・下川口地区の952世帯に対し、全戸アンケート調査を実施。 アンケート結果等をもとに、市民の誰もが出かけることができる地域密着型の交通体系・移動システムの構築に向けて「誰でも、お出かけ委員会」(社会福祉協議会、NPO法人、交通事業者、医師会、住民代表、PTA等が参画)で検討。					
(H25年) 3月 土佐清水市地域公共交通協議会に、運行計画(案)を提出。同会で承認。 10月～ 実証運行開始。1年間の試験期間を経て、平成26年10月～本格運行開始。					
(H28年) 7月～「土佐清水市地域公共交通再編のための調査研究事業」を実施。(高知工科大学に委託) 調査の一環として、地域での聞き取りやアンケート調査(全世帯から1/2をランダム抽出)を実施。					
今後に向けての課題					
・利用者の利便性の向上による利用拡大					



土佐清水市デマンド交通「おでかけ号」とは

土佐清水市では、現在運行している「路線バス」の一部を廃止し、新しく区域運行(デマンド交通)を導入します。ご利用には、あらかじめ電話での予約(デマンド)を行い、自宅(もしくは自宅の近く)までお迎えに行きます。基本的にはエリア内の目的地(商店など)や高知西南交通(株)の運行するバス停まで送迎する公共交通です。ただし、一部の便については、過疎地有償運送を導入することにより空白地域の解消を図ります。過疎地有償運送についても、ご利用にはあらかじめ電話での予約が必要です。

運行エリア

- デマンド交通 ●下ノ加江地区 ●三崎地区 ●下川口地区
- 過疎地有償運送 ●家路川地区 ●大川内地区 ●藤ノ川・鳥測地区 ●松山・横峯地区 ●横道地区

運行日・運行料金

■区域運行(デマンド交通) 運行日:月~土(日・祝日、年始1/1~1/3休み)
どなたでもご利用いただけます。

地区(エリア)名	料金		車両
	エリア内	区域外(市街地まで)	
下ノ加江地区	100円/回	別紙料金表を参照 下浦 600円/回 立石・布 800円/回	タクシーまたは10人乗り程度の車
三崎地区	100円/回	200円/回	600円/回
下川口地区	100円/回	200円/回	800円/回

※下ノ加江地区の早朝の一便についてのみ、区域を拡大し市街地までの区間についても乗降が可能です。その場合の運行料金は別紙をご参照ください。
※エリア・区域については、パンフレット表紙の地図をご参照ください。

■過疎地有償運送 運行日:週2日(日・祝日、年始1/1~1/3休み)

家路川・大川内・藤ノ川・鳥測・松山・横峯・横道の住民等で、「過疎地有償運送の会員」の方のみご利用いただけます。
※上記の住民等とは、当該地域の住民及びその親族、また当該地域に日常的に用務のある人(をい)、会員となるには「会員登録申込書」の提出が必要で、

運行区間	料金	車両
家路川 ⇄ 下ノ加江市民センター (運行日:月・木)	100円/回	乗用車 ※使用車種はその時によって異なります。
大川内 ⇄ 下ノ加江市民センター (運行日:火・金)		
藤ノ川 ⇄ 鳥測 ⇄ 下川口市民センター (運行日:月・木)		
松山 ⇄ 横峯 ⇄ 下川口市民センター (運行日:火・金)		
横道 ⇄ プラザバル (運行日:月・木)		

- 割引制度**
- 小人(小学生以下)及び障がい者は半額
 - 1歳未満の乳児、未就学児童(保護者同伴)は無料
 - 通学・通勤等に路線バスの定期券を購入している方は、その区間に限り無料



ご利用方法

ご利用には、事前に予約が必要です。

予約受付番号 **☎ 0880-82-1800**

所在地:土佐清水市栄町1-16 NPO法人ノアズアーク内(予約受付センター)

受付時間 / 9:00~17:00(日・祝日、年始1/1~1/3休み)

■受付は、下ノ加江地区……2時間前 までに予約受付センターへご連絡ください。
三崎・下川口地区……1時間前

- 朝11時までに出発する便をご希望の場合は、前日までに予約が必要です。また、月曜日の朝11時までに出発する便は、前週の土曜日までに予約してください。
- 予約の変更・キャンセルが発生した場合は、すぐにご連絡ください。
- 「おでかけ号」には停留所はありません。ご自宅(付近)や病院、お店などへお迎えに行きます。
- 大きな荷物をお持ちの方やペットはご乗車できません。
- 道路事情により、車両が進入できない地域があります。あらかじめご了承ください。
- 「おでかけ号」はご予約をいただいたすべての方をお迎えに行きます。
- 一般のタクシーとは異なり、待ち時間や到着時間が前後することがあります。到着時間に余裕をもってご利用ください。
- 予約したい便が定員に達している場合は、予約をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 利用登録は必要ありませんが、運用上、予約の時に住所、氏名、ご連絡先をお聞きします。

1 電話で予約
0880-82-1800に電話
希望する便の日・時刻・乗車人数・目的地を伝えて予約します。

2 予約の受付
オペレーターが対応
予約内容を確認し、乗車券を作成します。

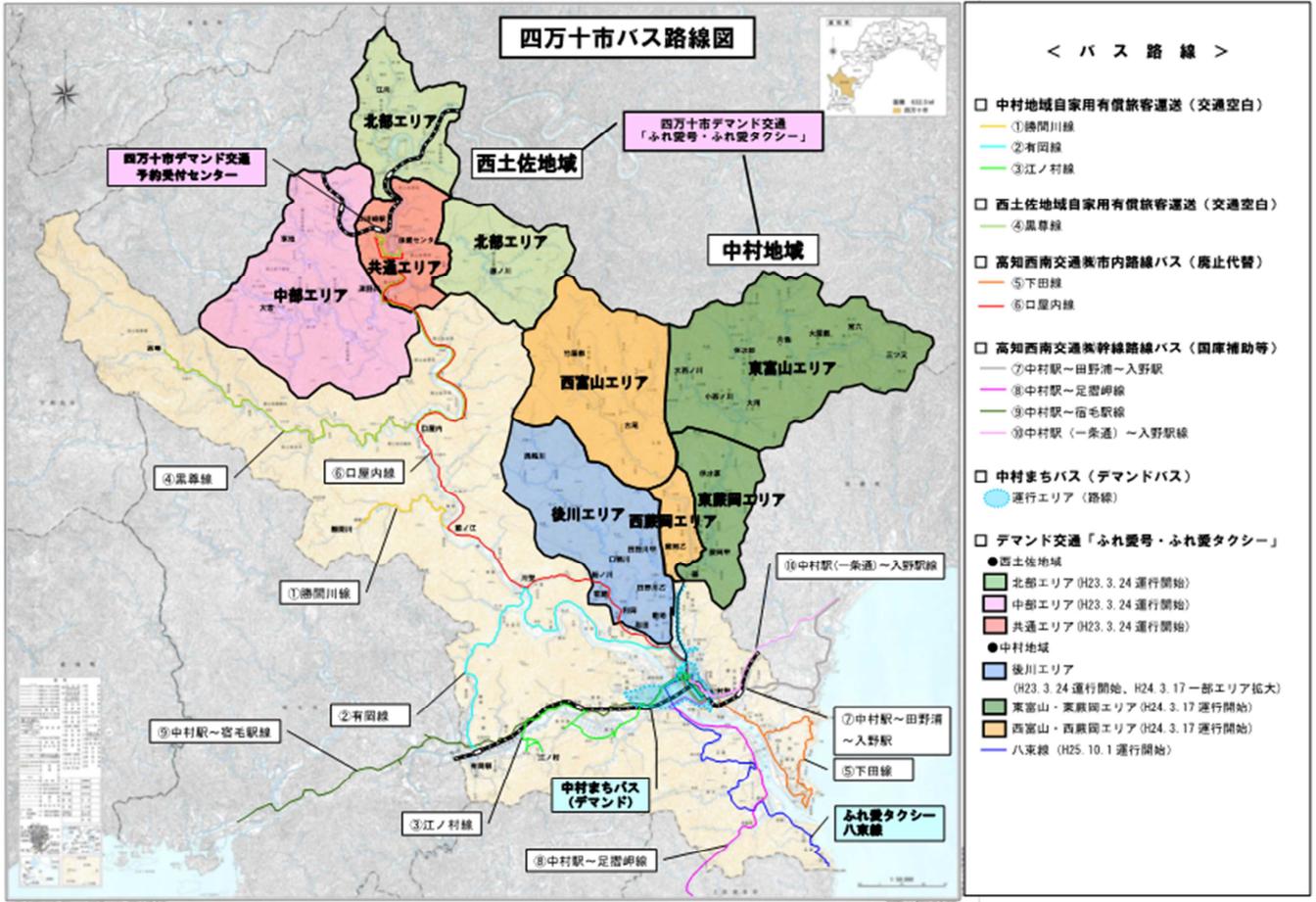
3 お出迎え
ご自宅(付近)でご乗車
乗用車でお迎えに行きます。

4 目的地へ
目的地までお送り
目的地までお送りします。



四万十市 (「ふれ愛タクシー」、「ふれ愛号」)		導入形態	デマンド型乗合タクシー、路線バス (民営)			
		導入地区 (導入開始)	西土佐地域、中村地域(後川エリア) (H23. 3月～) 中村地域(富山・蕨岡(東西)エリア) (H24. 3月～) 中村地域 (八束地区) (H25. 10月～)			
運行主体	(西土佐) (有)西土佐交通 (後川・西富山・蕨岡) 高知西南交通株 (東富山・蕨岡・八束) 四万十市タクシー組合 ※四万十市タクシー組合では、H27. 11より4社が1週間交代で運行					
運行台数	(西土佐) ワゴン車 3台 (後川) ワゴン車 1台 (西富山・蕨岡) ワゴン車 1台 (東富山・蕨岡) タクシー車両1台+予備車2台 (八束) タクシー車両1台+予備車1台					
運行形態・便数	<ul style="list-style-type: none"> ・区域運行 (西土佐地域：各エリア～江川崎、中村地域：各エリア～中村市街地) ・路線不定期運行 (中村地域：八束線 (名鹿地区～中村駅)) ・西土佐地域 (中部エリアを除く) の朝一便目のみ、路線定期運行 ・エリアにより、1日4～11便。八束線は、1日3往復。 					
運行日	西土佐・後川・東富山・西富山・蕨岡 月～土曜日 (日祝日、年始1/1～3は運休) 八束 月・木曜日 (祝日、年始1/1～3は運休)					
運賃	(西土佐、後川) エリア内：200円、2エリア：300円 ※西土佐エリアは通学・通院利用に限り無料。 (富山・蕨岡) エリア内：200円、2エリア：300円、2エリアを超えるもの：500円 (八束) 100円～700円 ※小学生以下及び障害者は半額。					
予約受付	(西土佐・後川・富山・蕨岡) 予約受付センター (JR予土線江川崎駅内) (八束) 四万十市タクシー組合 ※八束線以外は、会員登録 (無料) が必要 ※月～土 7：00～18：00受付 (運休日除く) (八束線は、8：00～18：00受付) ※朝一番の便は前日まで。それ以外は、利用したい便の出発1時間～2時間前まで。					
協議機関	四万十市地域公共交通活性化協議会 (市、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県 等)					
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域内フィーダー系統) ※後川、西富山・西蕨岡エリアのみ					
利用実績						
		①西土佐エリア	②東富山・東蕨岡エリア	③八束地区	④後川エリア	⑤西富山・西蕨岡エリア
H28	利用人数	3,288人	3,073人	236人	1,618人	759人
	利用料金	544,700円	1,062,750円	103,900円	443,758円	264,991円
	市負担額	13,694,400円	7,182,250円	1,796,091円	5,547,500円	4,987,600円
H29	利用人数	3,833人	3,240人	188人	1,502人	691人
	利用料金	595,500円	1,109,700円	80,600円	403,975円	232,508円
	市負担額	15,934,320円	7,157,986円	1,834,306円	5,611,000円	5,407,000円
H30	利用人数	4,133人	3,054人	174人	1,482人	573人
	利用料金	685,300円	1,065,600円	73,950円	395,777円	178,545円
	市負担額	15,855,480円	7,133,721円	1,776,984円	6,014,000円	5,576,000円
※市負担額：①～③は委託料。④～⑤は運行補助金として支出。						
運行に至った経過・作業等						
(H21年) 3月 四万十市地域公共交通活性化協議会 設立総会 9～10月 アンケート調査、利用者ヒアリング調査						
(H22年) 3月 四万十市地域公共交通総合連携計画書 策定						
(H23年) 3月 西土佐・後川地域で実証運行開始 12月～H24. 1月 運行エリア拡大について、住民説明会						
(H24年) 3月 富山・蕨岡地域に運行区間拡大 4月 西土佐で一部運行形態・運行時間見直し						
(H25年) 4月 四万十市デマンド交通本格運行開始。 後川で減便、東富山・蕨岡で配車台数の変更、市街地エリアの乗降場所を追加。 10月～八束地区で路線不定期運行路線の実証運行						
(H26年) 10月～八束線の本格運行開始。						
(H29年) 4月 西土佐地域の自家用有償旅客運送事業の一部をデマンド交通に統合						
(H31年) 3月 四万十市地域公共交通網形成計画 策定						
今後に向けての課題						
・利用実績をもとに、運行形態、便数等の見直しを行い、利便性を損なわないように運行経費の削減を図る。						

運行路線図



平成30年5月現在

四万十市デマンド交通(ふれ愛号)利用案内

出かけるとき、電話で予約すると、近くまでお迎えに行き、ご希望の目的地付近まで(中村市街地エリアはバス停まで)お送りいたします。帰るときは、商店や病院近くのバス停などに迎えに行き、自宅近くまでお送りいたします。

※ただし、道路事情などにより、乗降場所を指定される場合もありますので、ご注意ください。

利用するには

事前に予約が必要です。

利用者登録

- ◇原則、事前に利用者登録が必要です。利用者は利用者登録用紙若しくは予約受付センターに電話して利用登録(登録料は無料)をしてください。
- ◇利用者登録用紙は本庁(企画広報課)に備えています。

事前予約

- 利用の前には電話で予約が必要です。
- 予約受付センター(月～土 7:00～18:00 受付)
予約受付番号 わで行く しまんと
フリーダイヤル 0120-019-410
- ◇予約は、利用希望日の2日前(連休を除く)から遅くとも利用予定出発時間の2時間前まで(帰りの予約は1時間前まで)に受付センターへご連絡ください。
- ※予定変更(キャンセル等)は直ちにご連絡ください。
- ◇朝1便目は前日までに予約が必要です。
- ※月曜日の朝1便目は、前週の土曜日までに予約が必要。
- ◇予約したい便が定員に達している場合は、予約をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

注意点

- ◇『四万十市デマンド交通』には、基本的に停留所はありませんので、ご自宅(付近)などでお待ちください。
- ※中村市街地は決められたバス停での乗降になりますので、あらかじめご了承ください。
- ◇『四万十市デマンド交通』は複数人の乗合利用となります。一般のタクシーとは異なりますので、待ち時間や到着時間が10分から20分前後する場合があります。到着時間に余裕をもってご利用ください。

問い合わせ先 四万十市企画広報課
TEL: 34-1129 (FAX: 35-0007)

料金

- 基本料金・・・200円
[大人(中学生以上) 1エリア内の運行]
- エリアを超える場合
2エリアの運行・・・300円(基本料金+100円)
例) 東(西) 富山エリアから蔵岡エリアへの運行
2エリアを超える運行・・・500円(基本料金+300円)
例) 東(西) 富山エリアから中村市街地への運行
- ※小人(小学生以下) 並びに障害者及びその介護人は半額
(介護人は、割引対象外の場合がありますので詳しくはお問い合わせください)
- ※1歳未満の乳児、未就学児(保護者1人につき1人)は無料

運行

- 運行日 月～土曜日(日祝日、年始1/1～3は連休)
住次郎・大西ノ川・奥古尾地区は、月・水・金のみの運行。柳原谷地区は火・木のみ運行。
- 予約受付時間 月～土曜日の午前7時～午後6時
※連休日は予約受付しておりません。
- 運行エリア
東富山エリア、西富山エリア、東蔵岡エリア、西蔵岡エリア
◇詳しい運行エリアは運行案内をご確認ください。

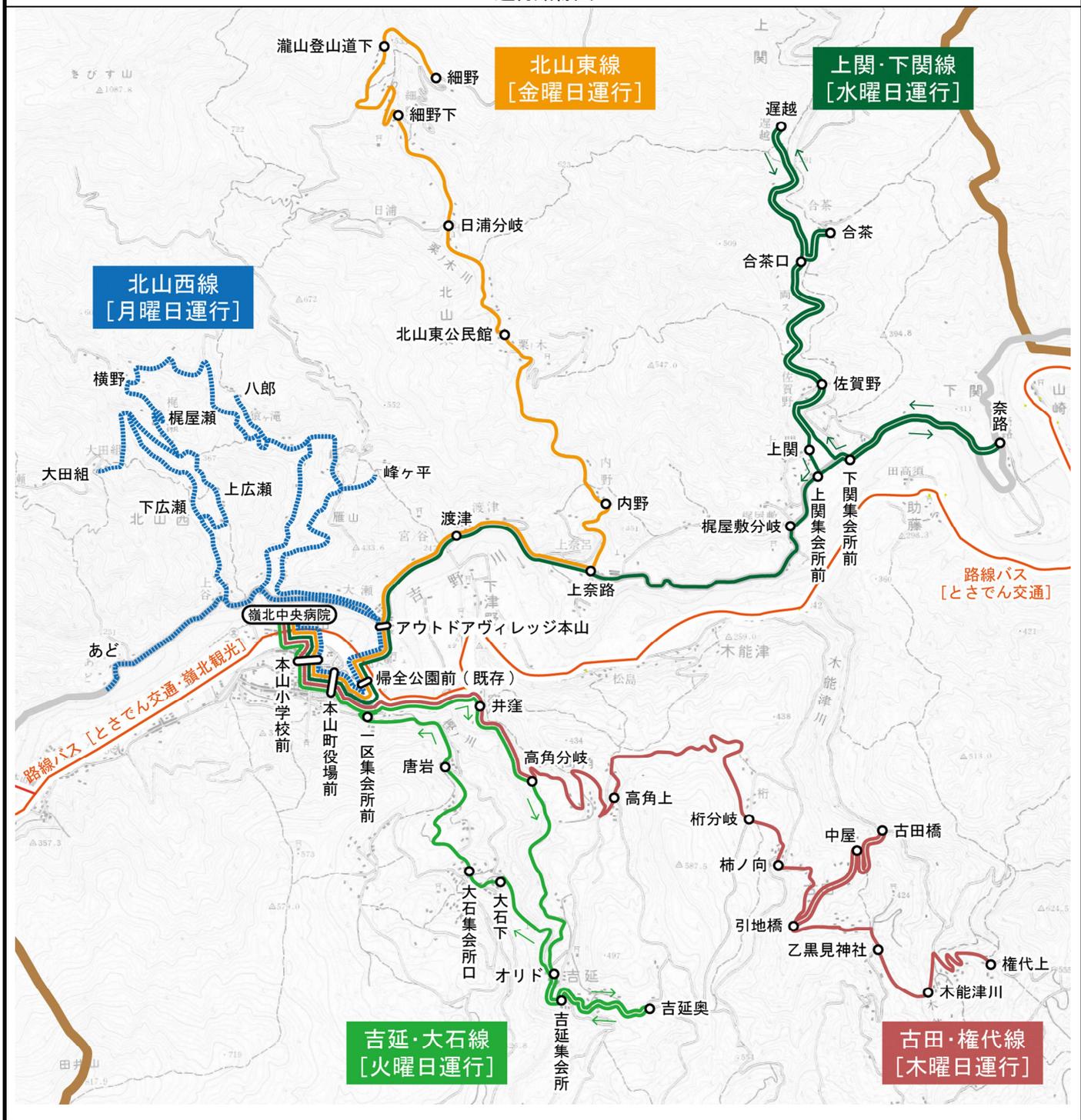
【ご利用方法イメージ】



香南市		導入形態	市町村運営有償運送（交通空白輸送）			
		導入地区 （導入開始）	市内全域 13 路線（H19. 3 月）			
運行主体	有限会社 平和観光 ※市から運行委託を受ける。					
運行台数	・マイクロバス：4 台 ・1 4 人乗り車両：2 台 ・中型バス：1 台 ・予備車両：3 台（マイクロバス）					
運行日・ 運行ルート	<p>毎日運行</p> <p>①のいち東部循環線：のいち駅～市役所～山北～みどり野～のいち駅 ②のいち北部循環線：のいち駅～市役所～父養寺～のいち駅 ⑤堀ノ内徳王子循環線：のいち駅～堀ノ内～徳王子～のいち駅 ⑥西川線：西川～山北～みどり野～のいち駅 ⑦東川線：東川～山南～山北～みどり野～のいち駅 ⑧土居赤岡循環線：のいち駅～土居～赤岡～のいち駅 ⑨野市香我美線：山北～みどり野～のいち駅 ⑩羽尾細川線：羽尾～細川～夜須駅</p> <p>月・水・金・土日祝運行</p> <p>③吉川下井線：夜須駅～岸本～赤岡～吉川～のいち駅 ⑫手結住吉循環線：夜須駅～住吉～埋立～夜須駅 火・木運行</p> <p>④吉川横井線：夜須駅～岸本～赤岡～吉川～のいち駅 ⑪千切行間循環線：夜須～出口～行間～夜須駅 ⑬学校線（香我美町校区・夜須町校区）</p>					
運賃	<p>片道 一般（中学生以上）：100 円～600 円</p> <p>※小学生、75 歳以上、障がい者及び付添人、運転免許返納者（65 歳以上）は半額</p> <p>※小学生未満は無料。</p>					
協議機関	香南市地域公共交通会議 香南市営バス検討委員会 （市、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県 等）					
財源対策	中山間地域生活支援総合補助金（移動手手段確保支援事業）					
利用実績						
	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
利用者 計	35,064 人	38,066 人	39,278 人	38,315 人	35,682 人	
運賃収入	3,825 千円	3,661 千円	3,836 千円	3,775 千円	3,165 千円	
運行委託料	33,181,661 円	34,318,741 円	34,318,741 円	36,886,721 円	38,720,986 円	
運行に至った経過・作業等						
(H19 年)	5 月	野市町、香我美町、夜須町、赤岡町、吉川村の合併に伴い、香我美町及び夜須町で運行していた町営バスを香南市営バスとして再編成し、運行を開始する。				
(H23 年)	7 月	住民の意見や要望を反映した路線、ダイヤ改正を行う。一部区間を予約式運行に変更する。				
(H26 年)	7 月	複雑化した 54 路線を 17 路線に集約、曜日限定運行の導入、他の路線や民間鉄道及びバスへの接続を考慮したダイヤ編成、運行車両の追加を行うなど利便性の向上を行う。				
(H29 年)	9 月	マイクロバス 2 台を 14 人乗り車両へ小型化する。				
	1 0 月	17 路線を 12 路線に集約し、運行効率及び利便性の向上を行う。				
今後に向けての課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・市営バスが利用困難な交通空白地域への対応。 ・市営バスの周知、利用促進。 ・利用者ニーズに対する十分な便数の確保。 ・登下校の時間帯に学校線（学校専用便）が運行することによる、一般路線の便数不足。 ・利用者が多い停留所の環境改善（ベンチや屋根の設置） 						

本山町 さくらバス		導入形態	市町村運営有償運送（交通空白輸送）	
		導入地区 （導入開始）	北山西線、吉延・大石線、上関・下関線、古田権代線、北山東線	
運行主体	本山町 ※嶺北交通有限会社と業務委託契約を締結			
運行台数	10人乗り車両1台（本山町所有）			
運行形態・便数	月曜日：北山西線（前日17時まで受付を行うデマンド運行） 火曜日：吉延・大石線 水曜日：上関・下関線 木曜日：古田・権代線 金曜日：北山東線 ※祝祭日も運行（ただし、12月29日～翌1月3日は運休） ※国道沿線以外はフリー乗降			
運行日	月曜日～金曜日			
運賃	19歳以上200円、18歳以下100円、回数乗車券100円券11枚綴り			
予約受付	月曜日：北山西線のみ前日までの予約運行方式			
協議機関	本山町地域公共交通会議 （町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県、警察、道路管理者等）			
財源対策	中山間地域生活支援総合補助金（移動手段確保支援事業）、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、過疎債			
利用実績				
		実証運行（無料） H31年1月～R1年9月	本格運行 R1年10月～R2年2月	
	北山西線	115	81	
	吉延・大石線	348	172	
	上関・下関線	573	216	
	古田・権代線	624	254	
	北山東線	480	161	
	合計	2,140	884	
運行に至った経過・作業等				
<p>平成28年度 町内の公共交通空白地について調査</p> <p>平成29年度 対象地区での意見交換会実施、運行路線及び本数・ダイヤの検討</p> <p>平成30年5月 本山町地域公共交通会議設置</p> <p>平成31年1月 本山町コミュニティバスさくらバス実証運行開始</p> <p>令和元年10月 さくらバス本格運行開始</p>				
今後に向けての課題				
<p>高齢化の進行により、移動手段の確保が困難になる地域が増加することが想定される。</p> <p>そのため、公共交通網形成計画を基に利用しやすい運行形態を計画・実施しなければならない</p>				

運行路線図



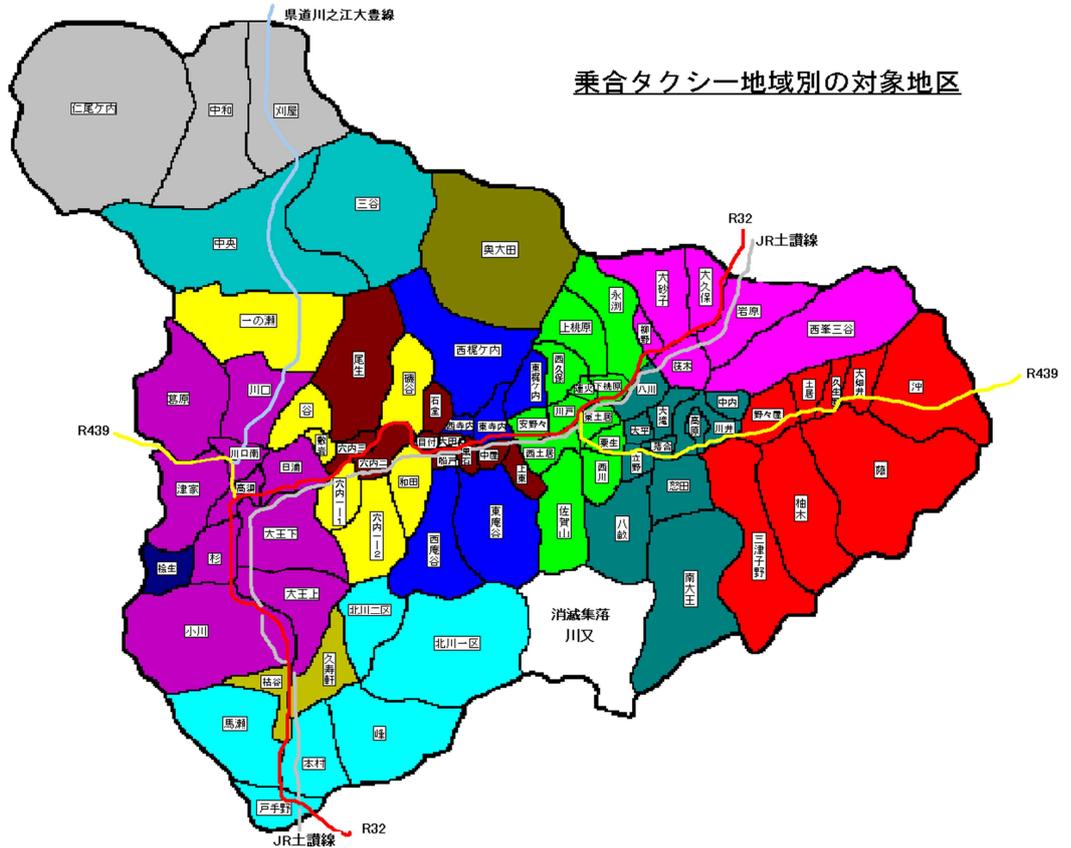
大豊町		導入形態	デマンド型乗合タクシー		
		導入地区 (導入開始)	町内全域 (H18.5.1～)		
運行主体	・(有)大杉ハイヤー ・(有)大豊ハイヤー ・豊永観光(有) ※3社での共同運行。運行は2週間ごとのローテーション				
運行台数	4人乗り車両3台(各社1台ずつ) + 9人乗り車両2台				
運行形態・便数	・町内14エリア～目的地までの区域運行(利用者宅～下記7か所) ・①大豊町役場周辺 ②大豊町総合ふれあいセンター周辺 ③本山町役場周辺 ④早明浦病院 ⑤高知日赤病院周辺 ⑥JA高知病院 ⑦高知大学医学部付属病院付近 ※①～⑦の行き先を設定。 ・1日1便(不定期)				
運行日	週3日(月・水・金)運行				
運賃	片道料金: 町内 500円、本山町・土佐町 1,000円、南国市・高知市 2,000円 ※福祉タクシーチケットの利用可。				
予約受付	利用日の前日17時まで(3社の電話番号(当番制))に予約				
協議機関	大豊町地域公共交通会議 (町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県等)				
財源対策	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(通常は過疎債)				
利用実績					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
延べ輸送人員	851人	859人	788人	692人	
延べ運行台数	267台	270台	269台	286人	
1台当乗車人数	3.2人	3.2人	2.9人	2.4人	
運行助成金※	2,107,800円	1,979,500円	1,653,500円	1,861,300円	
※タクシー事業者が高知運輸支局に届出した料金と、実際の運賃収入の差額 1人乗車があった場合、1人分の乗車料金を助成					
運行に至った経過・作業等					
(H17年)	4月 地域交通の意見交換会(高齢者を中心とした交通弱者の足の確保について) 高知県ハイヤー協会来庁(乗合タクシー特区申請について協力依頼) 6月 高知県ハイヤー協会「大豊町乗合タクシー特区構想」提案書を国に提出 7月 「特区構想」について、国土交通省から現行の制度で運行できるとの回答 10月 乗合タクシー制度について説明会 11月 乗合タクシーについて協議				
(H18年)	1月 高知県の移動サービスを考える会主催、移動サービス学習会 2月 四国運輸局へ乗合タクシー制度申請 3月 高知運輸支局からハイヤー業者3社に許可証交付 大豊町交通問題を考える会を設立 5月1日 乗合タクシー 運行開始				
(H23年)	1月 地域公共交通会議を開催 乗合タクシー継続運行申請に伴う会議 3月 四国運輸局へ乗合タクシー継続運行申請 4月 高知運輸支局からハイヤー業者3社に許可証交付				
今後に向けての課題					
数名で乗り合わせた際、最初に乗った乗客の目的地と、2番目3番目に乗ってくる乗客の乗車地が、必ずしも運行ルート上につながるわけではないので、最初の乗客の乗車時間が長くなり、負担となっている。 往復の場合、帰りも同様。					

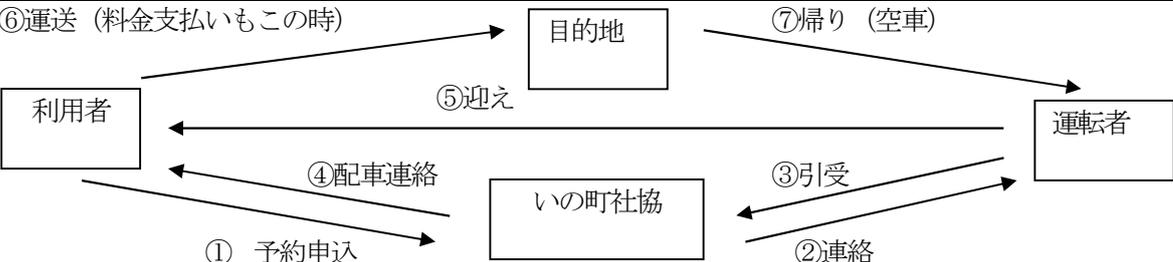
管内図



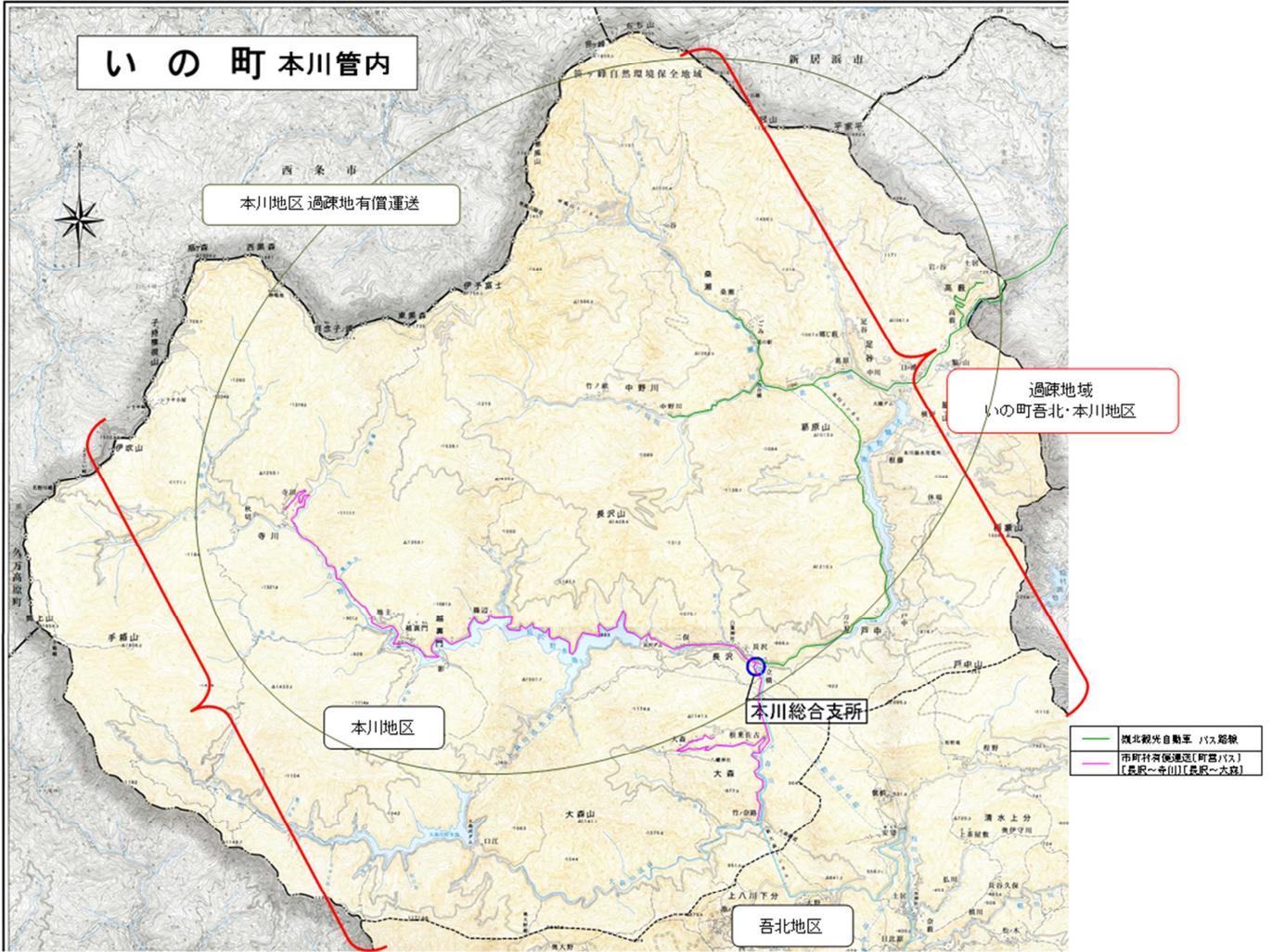
乗合タクシー地域別の対象地区

- | 凡例 | 説明 |
|----|---------------|
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 総合ふれあいセンター：黒石 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |
| 10 | 10 |
| 11 | 11 |
| 12 | 大豊町役場：高瀬 |
| 13 | 13 |
| 14 | 14 |



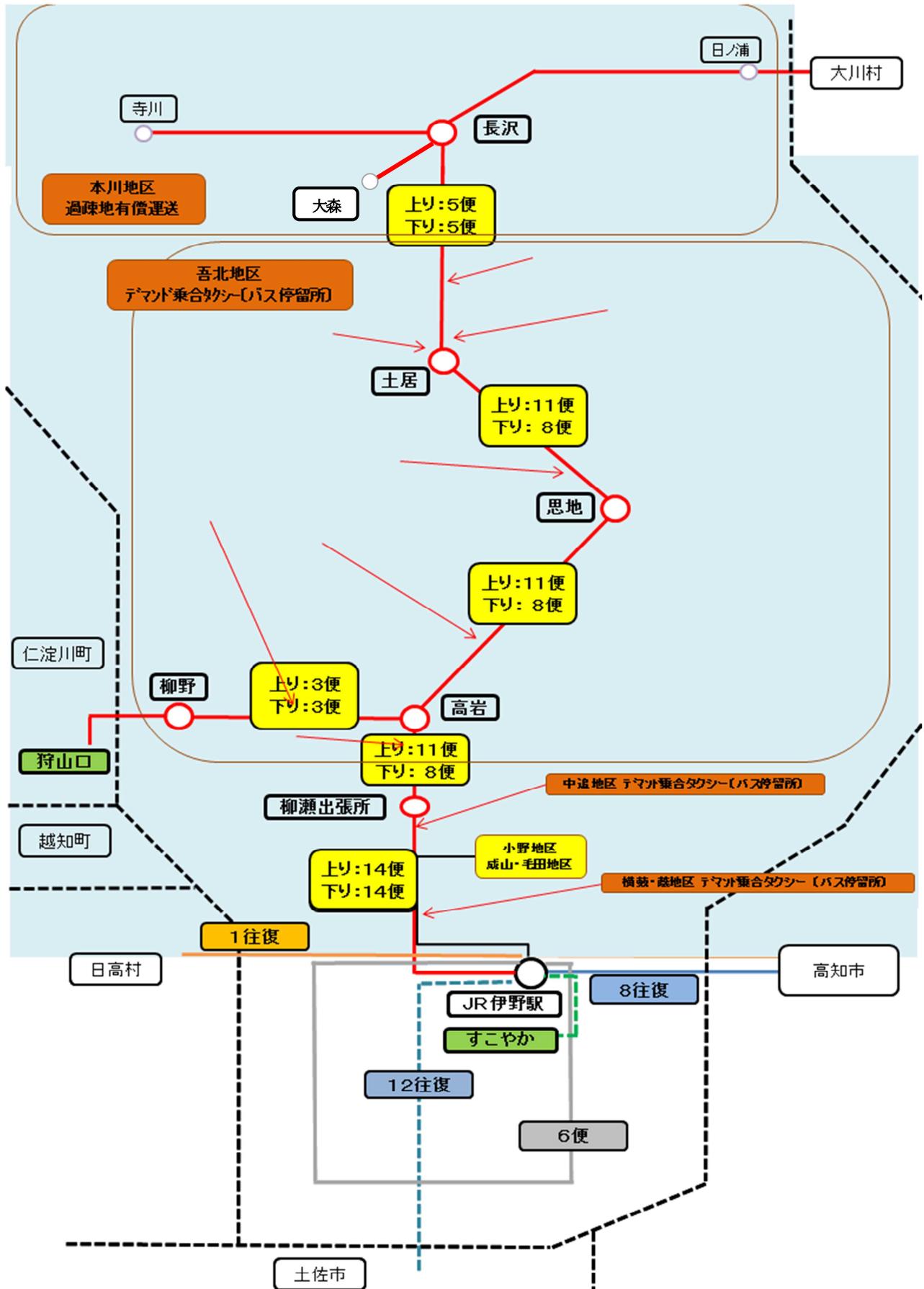
いの町		導入形態	公共交通空白地有償運送
		導入地区 (導入開始)	本川地区 (H23.4月～)
運行主体	社会福祉法人 いの町社会福祉協議会		
運行台数	14台 ※すべて運転者の自家用車		
車両設備	有償運送車両の表示「運送者・有償運送車両・登録番号」(マグネットシート) 公共交通空白地有償運送 登録証の写し、運転者証 損害賠償保険に全車加入 対人：無制限、対物：300万円以上、搭乗者：500万円以上		
運転者	15名 ※区長、民生委員、社協職員、森林組合職員、町職員(兼務) 等(稼働運転者数 2名)		
	報酬	売上げの85%(残りは社協)	
	自己負担	車検・修理費、自動車保険料、燃料代	
要件	免許取得後5年以上経過した人で、78歳以下の人		
運行時間	特に制限なし(利用日の3日前までに予約)		
運賃	初乗り6km未満 500円+6km超過後は1kmあたり100円増額(1kmに満たない部分は切り捨て) 待ち時間：30分あたり100円 迎車(行政区を超えるもの)：200円		
運行範囲	いの町本川を発地もしくは着地とする範囲		
登録会員	本川地区住民のうち 57名(年会費 1,000円)		
連絡体制	 <pre> graph TD User[利用者] -- ① 予約申込 --> Soc[いの町社協] Soc -- ② 連絡 --> Driver[運転者] Driver -- ③ 引受 --> Soc User -- ④ 配車連絡 --> Driver Driver -- ⑤ 迎え --> User Driver -- ⑥ 運送 --> Dest[目的地] Dest -- ⑦ 帰り(空車) --> Driver </pre>		
協議機関	いの町有償運送運営協議会 (町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県、警察、道路管理者、学識経験者 等 ※いの町地域公共交通活性化協議会と同一委員)		
役場負担	初期費用：ステッカー代、連絡用携帯電話代、市町村有償運送等運転者講習受講料		
利用実績	(H26年度) 件数：121件 売上：638,300円 (H27年度) 件数：103件 売上：686,000円 (H28年度) 件数：104件 売上：625,000円 (H29年度) 件数：100件 売上：668,100円 (H30年度) 件数：77件 売上：425,200円		
運行に至った経緯の概要・作業等			
(H17年) 地元タクシー業者 廃業 交通網が貧弱な本川地区では、日常生活に車が不可欠であるが、車を運転しない(できない)高齢者などの地域住民にとって、不便な状態が続いていた。 (H22年) 11月 いの町有償運送運営協議会 設置 12月 本川地区交通空白地有償運送について地区住民への説明会(町主催) (H23年) 1月 社会福祉法人 いの町社会福祉協議会を運営主体者として、取り組み開始 (研修、講習会、運転者への説明会、交通安全講習会 等) 3月 2回目 住民説明会 具体的な運営方法について、運営協議会で承認 4月 運行開始(実質運行開始は 6月) (H25年) 4月 運送料金の見直し(1kmあたり100円→現行) (近距離(本川地区内)での利用が7割を超える中での収入の確保と、近距離利用者の利用控えを解消するため。)			
今後に向けての課題			
・運転手増員のための資金不足 ・事業運営のための資金確保			

管内図



いの町		導入形態	デマンド型乗合タクシー			
		導入地区 (導入開始)	①小野 (H19.9月～) 毛田、成山地区 (H20.10月～) ②吾北、中追、横藪・蔭地区 (H24.6月～)			
運行主体	①(有)明神ハイヤー ②(有)吾北ハイヤー (吾北地区)、大はらハイヤー (中追地区) (有)明神ハイヤー (横藪・蔭地区) ※高知県ハイヤー協会の支部と協議、手順を踏んで選定。					
運行台数	①5台 (予備車1台必要) ②3台 (最低車両数: 2台) ※道路運送法第4条許可申請における処理方針で、最低車両数が決められている。					
運行形態・便数	① (路線定期運行+予約運行) 1日3便、廃止路線バス停～いの町中心部 ② (区域運行+バス停への着時間設定→路線バスへ接続+予約運行) 路線バスの通過時刻に合わせて運行、自宅付近～最寄りのバス停					
運行日	①毎日運行 (吾北地区では、集落ごとに予約優先曜日あり)					
運賃	② 乗車1人 300円 (成山地区は500円) ②1乗車1人 300円 ※小児運賃半額					
予約受付	①朝1便目は前日まで 昼・夜便は利用する3時間前までに運行業者に予約 ②利用日前日の9時～19時の間に、運行業者に予約					
協議機関	いの町地域公共交通活性化協議会、いの町地域公共交通会議 (町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県、警察、道路管理者、学識経験者 等)					
財源対策	過疎債等					
利用実績						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
①小野、毛田、 成山地区	輸送人員	1,143人	1,227人	992人	868人	4,230人
	運賃収入	456,750円	492,990円	425,210円	351,000円	1,725,950円
	運行委託料※	1,636,330円	1,601,020円	1,281,140円	1,034,980円	5,553,470円
②吾北、中追、 横藪・蔭地区	輸送人員	4710人	4886人	4,677人	4,124人	18,397人
	運賃収入	1,439,700円	1,465,800円	1,403,100円	1,237,200円	5,545,800円
	運行委託料※	8,616,850円	8,881,760円	8,603,660円	7,738,580円	33,840,850円
※1運行ごとの実際のタクシーメーター料金で委託契約 (運賃は町収入としているので、実質差額を負担。)						
運行に至った経過・作業等						
(S45年) 11月～ 県交通の路線廃止に伴う代替路線 (町営: 市町村有償運送) として、1日3便運行開始。 (H19年) 9月～ 定時制デマンド式乗合タクシーに移行 (小野線) (H20年) 10月～ 毛田 (毎週火曜日)、成山 (毎週水曜日) 地区に延伸 (H23年) 9月～ 毛田・成山地区 毎週金曜日運行開始 (週2日運行) (H24年) 6月～吾北地区、中追地区、横藪・蔭地区に運行範囲拡大 (毎日運行) (H25年) 4月～吾北地区内の県北部交通休止区間 (思地～若宮) に運行範囲拡大 (H31年) 4月～毛田・成山地区を毎日運行に変更						
今後に向けての課題						
・過疎地域・山村振興地域以外の交通空白地域の解消						

運行路線図

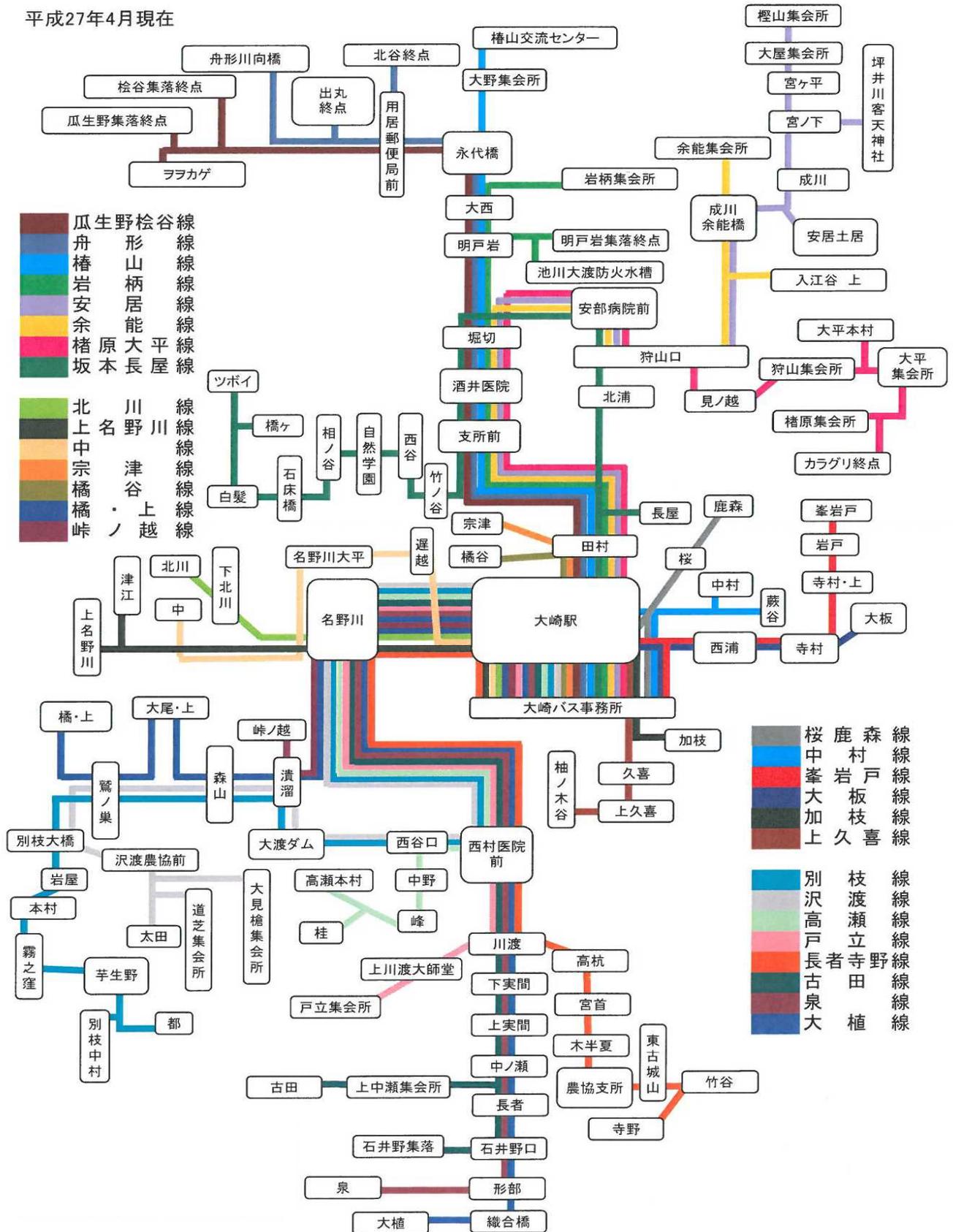


H30. 4. 1時点 バス路線 + デマンド等

仁淀川町		導入形態	市町村運営有償運送（交通空白輸送）		
		導入地区 （導入開始）	町内全域30路線（H19.8月） ※町民バス（10路線）と民間バスを補完		
運行主体	有限会社 仁淀川観光 ※町からの指定管理者の指定を受ける。				
運行台数	14人乗り車両 3台（町所有車両を有限会社 仁淀川観光へ無償貸与）				
運行日・ 運行ルート	月曜日：4路線 火曜日：6路線 水曜日：6路線 木曜日：6路線 第1, 3木曜日：1路線 金曜日：5路線 第1, 3金曜日：1路線 ※全て1日1往復運行。 ※祝日は運休。 ※一部デマンド運行区間あり。（前日のお昼までに予約） ※国道33号及び国道439号では既存のバス停を利用。それ以外は乗降自由区間。				
運賃	片道 大人200円（中学生以上）、高校生以下100円 ※身体障害者手帳等を持っている人は半額。 ※幼児（小学校入学前）は無料。				
協議機関	仁淀川町地域公共交通会議 （町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、県 等）				
財源対策	中山間地域生活支援総合補助金（移動手段確保支援事業）、過疎債（平成24年度まで）				
利用実績					
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計
池川（利用者数・往復合計）	2,672人	2,578人	2,660人	2,382人	10,292人
吾川（利用者数・往復合計）	3,940人	3,790人	3,345人	3,294人	14,369人
仁淀（利用者数・往復合計）	1,808人	1,759人	1,579人	1,536人	6,682人
利用者 計	8,420人	8,127人	7,584人	7,212人	31,343人
運賃収入	1,493,645円	1,482,500円	1,384,400円	1,308,500円	5,669,045円
運行委託料	17,130,000円	17,820,000円	18,024,000円	18,024,000円	70,998,000円
運行に至った経過・作業等					
<p>仁淀川町行政改革大綱に住民の利便性向上のための見直しが記載される。 （吾川村実施の患者輸送バスの取扱いが課題として残る。） 平成17年8月の合併後、12月の住民アンケートから交通弱者の課題が浮かび上がる。</p> <p>（H18年） 4月 町長、副町長が地域に伺い懇談会を開催 5月 仁淀川町営バス運行管理検討会を行い、以後協議を重ねる 7月 町職員による地域訪問を実施 8月 既存バス乗客への聞き取り調査を実施 12月 町議会定例会でコミュニティバスの設置、管理条例が可決 （H19年） 8月 運行開始</p>					
今後に向けての課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・車両の更新 ・運転手の確保 					

仁淀川町コミュニティバス路線図

平成27年4月現在



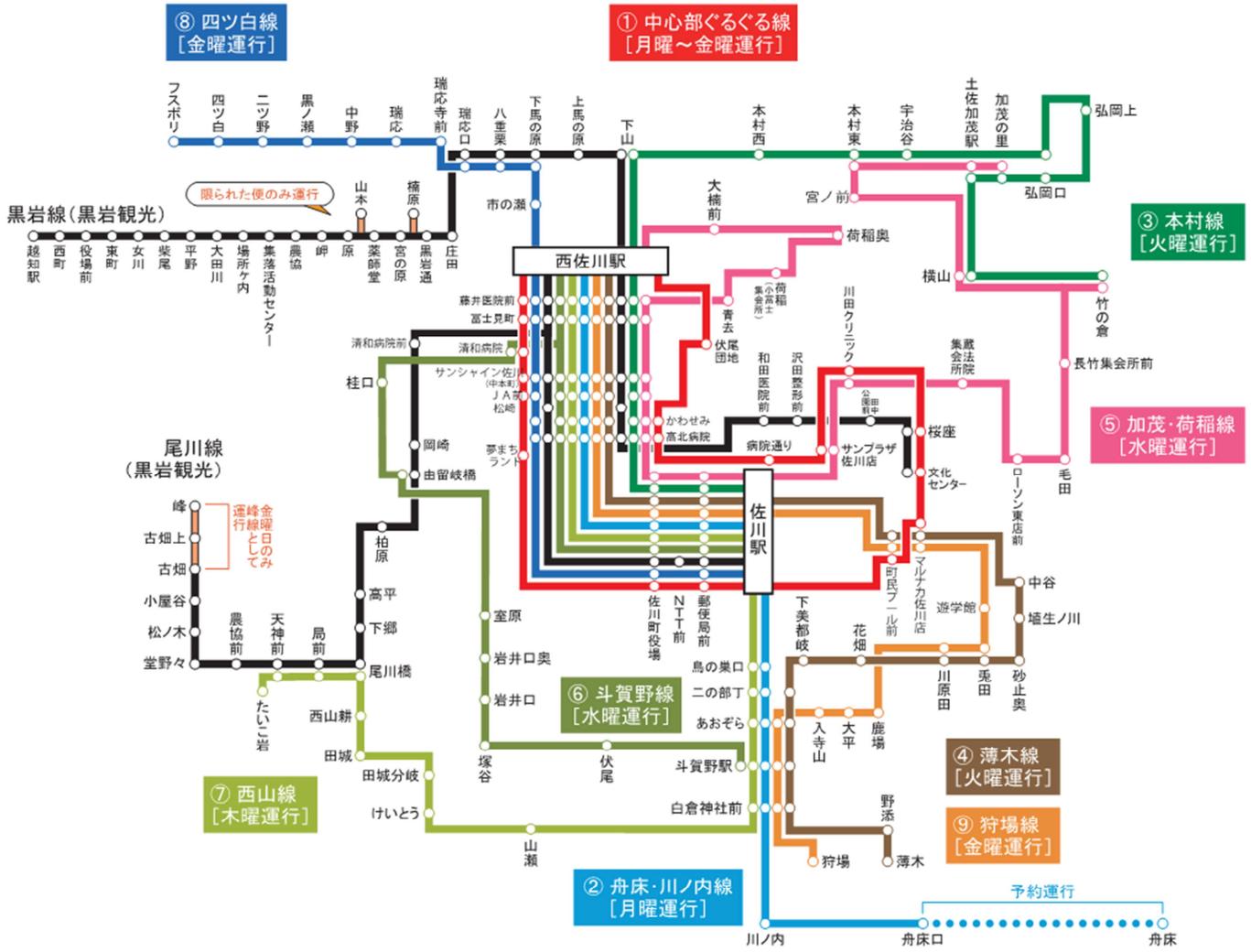
※全て大崎駅を発着

※上久喜線、上名野川線、橋・上線、中村線、北川線、瓜生野・松谷線、舟形線、余能線、坂本線、岩柄線、安居線、椿山線、別枝線、大野・泉線、古田線、高瀬線、沢渡線の一部でデマンド運行。

中土佐町		導入形態	路線バス（民営）			
		導入地区 （導入開始）	①久礼地区：3系統 ②大野見地区：3系統 （H25.1月～9月 無料で実証運行 6系統） ※3月途中より+1系統となる （H25.10月～本格運行） （H27.10月に路線再編：計10系統となる） （H30.10月に路線再編：計6系統となる）			
運行主体	(有)中土佐ハイヤー ※公募型プロポーザル方式により、選定。					
運行台数	10人乗りワゴン車 2台+予備車（運行主体所有車両） ※町が購入し、本格運行開始直前に無償譲渡した。					
運行日・ 運行 ルート	曜日	久礼地区		大野見地区		
	月曜日	川崎・萩原線		下ル川線		
	火曜日	楠ノ川線		萩中線		
	水曜日	長沢・大坂線		高樋線		
	木曜日	川崎・萩原線		萩中線		
	金曜日	楠ノ川線		下ル川線		
	土曜日	長沢・大坂線		高樋線		
	※路線定期運行。					
運賃	一回の乗降で 大人 100円、小人 50円 ※65歳以上は無料。（中土佐町高齢者等外出支援・路線バス無料化事業 適用）					
協議機関	中土佐町地域公共交通会議 （町、住民代表、交通事業者、高知運輸支局、県、警察、道路管理者等）					
財源対策	・地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）、過疎債					
利用実績						
	H28.10～H29.9月		H29.10～H30.9月		H30.10～R01.9月	
	久礼地区	大野見地区	久礼地区	大野見地区	久礼地区	大野見地区
利用人数	2,047人	4,889人	2,532人	3,991人	2,614人	3,603人
運賃収入	691,000円		649,000円		620,550円	
補助金額	15,190,000円（※1）		15,296,000円（※1）		10,514,000円（※1）	
※1国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）」を含む。						
運行に至った経過・作業等						
(H23年) 8月～12月	集落別によるヒアリング及び意見交換会					
(H24年) 3月	「中土佐町生活交通再編計画」策定					
11月	住民説明会					
12月	交通事業者との協議					
(H25年) 1月	コミュニティバス（6系統）実証運行 同時に利用者アンケート（バス車内に設置、回答） バス乗務員による利用者意見の聞き取り調査 等実施					
2月	交通事業者との協議（運行の状況や住民の意見等、今後の調整についてのヒアリング）					
3月	生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）策定					
4月	運行事業者選定（プロポーザル方式）					
6月	中土佐町公共交通会議					
8月	中土佐町地域公共交通確保維持改善事業による路線運行に関する協定を締結 道路運送法第4条一般乗合の許可申請（9月に許可となる）					
10月～	本格運行開始					
今後に向けての課題						
高齢化による利用者の減少が課題となるが、継続運行するためには利用促進活動や状況に応じた運行内容の変更を行っていく必要がある。						

佐川町		導入形態	市町村運営有償運送：交通空白輸送	
		導入地区 (導入開始)	町内全域9路線(H29.10月)	
運行主体	佐川町（運行事業の総称：さかわぐるぐるバス） ※町から運行業務委託→(有)近藤ハイヤー、島崎商事(株)、佐川明神観光(資)			
運行台数	10人乗り車両 4台（町所有車両を運行受託業者3社へ無償貸与）			
運行日・ 運行ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・町中心部を循環する路線（1路線） - 右回り、左回りの交互運行 - 運行日：月～金曜日（毎日） 便数：午前4便、午後4便 ・町周辺部と中心部をつなぐ路線（8路線） - 上り線、下り線の往復運行 - 運行日：週1日の曜日限定→月曜1路線 火曜2路線 水曜2路線 木曜1路線 金曜2路線 便数：各路線とも1日5便 <p>※全路線土日及び12/29～1/3運休。 ※一部デマンド運行区間あり。（前日までに予約） ※全路線バス停設置。ただし、1部区間（国道33号等）を除き自由乗降。</p>			
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・町中心部を循環する路線→1回乗車100円 ・町周辺部と中心部をつなぐ路線→1回乗車200円 ※身障手帳等各種手帳の所持者と介護者（1人）→半額 免許返納者→半額 小学生→半額 ※乳幼児（保護者同伴）→無料 乳幼児数が保護者数を超える場合→1人につき小人料金 			
協議機関	佐川町地域公共交通会議 （町、住民代表、交通事業者、病院関係、商工関係、高知運輸支局、県等）			
財源対策	高知県中山間地域生活支援総合補助金・地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国）			
利用実績				
	H30年度(4/1～3/31)	H31年度(4/1～1/31)	合計	
町中心部を循環する路線（1路線）	2,674人	2,878人	5,552人	
町周辺部と中心部をつなぐ路線（8路線）	5,102人	5,363人	10,465人	
利用者 計	7,776人	8,241人	16,017人	
運賃収入（回数券販売分含む）	1,077,650円	1,087,200円	2,164,850円	
運行委託料	22,977,336円	22,691,697円	45,669,033円	
運行に至った経過・作業等				
<p>(背景)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の周辺部から中心部へ車で10～20分で行けるコンパクトな町 ・JR土讃線（5つの駅、佐川駅に特急停車）と3路線の廃止路線代替バスがあり ・バス路線が通っていない周辺部で高齢化が進展 ・中心部に量販店、病院等が集中しているため、移動手段のない周辺部の高齢者は行けない ・鉄道は高知市内等に行くとき利用するので、町中を簡便に移動できる手段が欲しい <p>(経過・作業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度 町長の命により新公共交通網の立ち上げに着手。現状の調査（公共施設・商業施設・病院等の分布状況、地区別人口・世帯数の推移、通勤・通学流動、住民アンケート、住民懇談会等）。課題の抽出（公共交通空白地域の存在、高齢化の進行による新公共交通ニーズの高まり、公共交通利用者数の減少等）。 ・H27年度 前年度で得た課題の解消をめざす計画づくりに着手。「佐川町地域公共交通網形成計画」の策定。 ・H28年度 新公共交通網の運行に向けての各種作業。 ・H29年度 「さかわぐるぐるバス」として実証運行実施（4月～9月）。10月から本格運行開始。 				
今後に向けての課題				
・更なる利用者増加への取組				

運行路線図

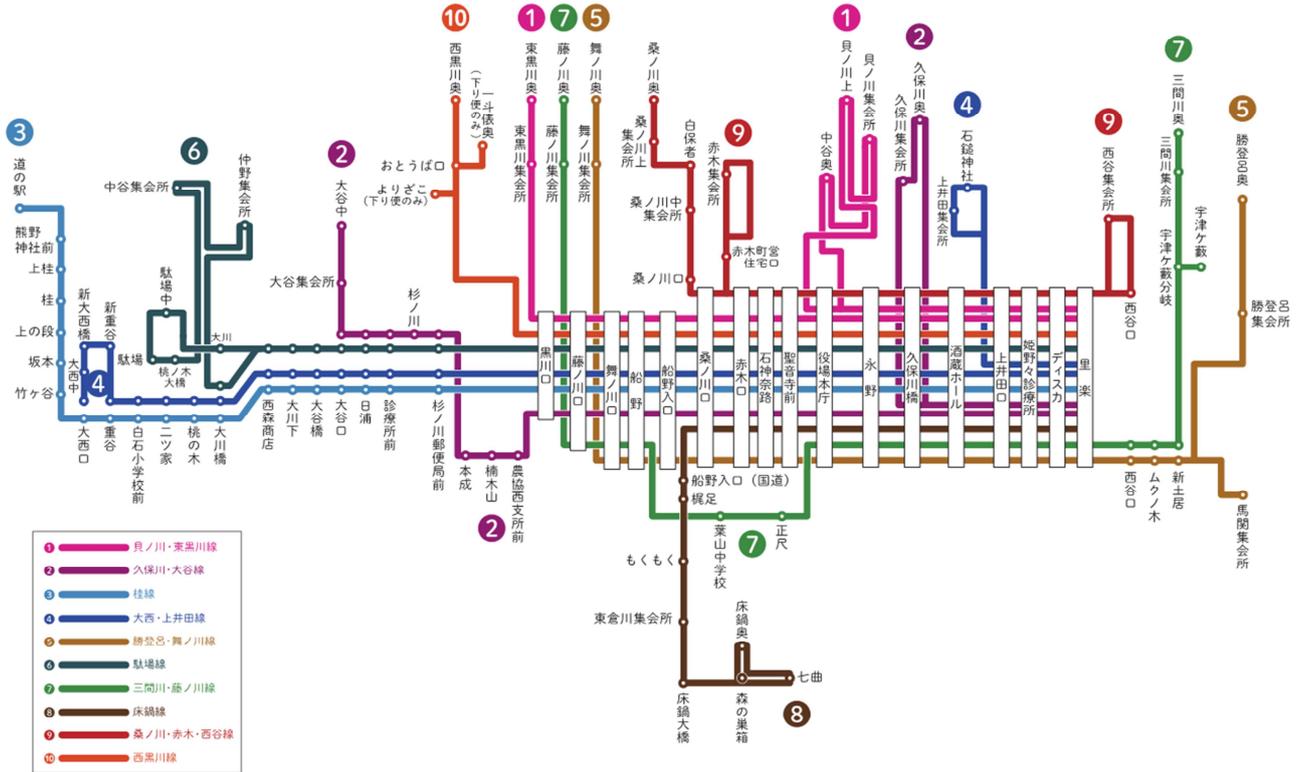


梶原町		導入形態	公共交通空白地有償運送
		導入地区 (導入開始)	初瀬区、松原区 (H23.5月～)
運行主体	NPO法人 絆		
運行台数	2台(町からの無償貸与車両)		
車両設備	有償運送車両の表示「運送者・有償運送車両・登録番号」(マグネットシート) 公共交通空白地有償運送 登録証の写し、運転者証 損害賠償保険に全車加入(対人:無制限、対物:無制限、搭乗者:無制限)		
運転者	14名 ※退職者、農業者、主婦 等		
	報酬	町からの貸与車両使用:料金の6割	
	自己負担	公共交通空白地有償運送等運転者講習受講料	
	要件	公共交通空白地有償運送等運転者講習受講者・特にないが、目安として75歳まで	
運行時間	7:00~21:00(前日までに予約)		
運賃・ 運行範囲	地区内	片道	300円
	初瀬区~松原区	片道	500円
	初瀬区~梶原町東区、津野町新田	片道	1,000円
	松原区~梶原町東区、津野町新田、四万十町大正	片道	1,500円
登録会員	初瀬・松原区内住民及び親族等 約342名		
連絡体制	利用者→連絡責任者に申し込み→登録運転者→業務の開始、終了を連絡責任者に連絡 運転者は、乗務の都度、運行記録を作成 月に一度、運行記録をもとに、収受した料金から運転者の報酬を精算		
協議機関	ゆすはら ふっとわーく推進協議会 (町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局、商工会、シルバー人材センター等)		
町負担	初期費用:車両購入(エスティマ 2台) その他:H24年度 移動支援利用促進事業(利用者に対し、5回に1回無料券を配布。) H25年度~ 移動支援利用促進事業委託 (利用者1人に対し、300円を町からNPO法人に補助。250千円を上限。)		
利用実績	(H28年度) 件数: 890件 売上高:799,900円 (H29年度) 件数:1,075件 売上高:668,400円 (H30年度) 件数: 850件 売上高:484,600円		
運行に至った経過・作業等			
<p>(H17年) 高齢者保健福祉計画を作成する際、町内のニーズ調査を行った中で、移動手段確保への要望が上がる。</p> <p>(H18年) 県内の先進地視察(さわやか高知、大豊町の乗合タクシー)</p> <p>(H19年) 町の関係部署協働で取り組むことを確認。 県・地域支援企画員や保健福祉課、須崎福祉保健所の協力(調査票作成、聞き取り調査人員)を得て、再度実態調査。結果を分析していく中で、初瀬区・松原区での移動手段確保の必要性が浮かび上がる。地区関係者と上勝町有償運送視察。</p> <p>(H20年) 移動手段の確保を考える意見交換会(2回開催) ハイヤー業者との話し合い(2回開催) タクシー、バス業者に梶原町の実態を説明。</p> <p>(H21年) 移動手段確保について区長会 情報収集活動(島根県飯南町、高知運輸支局間い合わせ)</p> <p>(H22年) 移動手段確保検討会 再開(高知運輸支局職員を迎えて) 2回目の検討会で初瀬・松原という地区限定について賛意を得る 町の事業を一部委託することで、業者との合意 (委託事業:月1回のいきいきふれあい広場への送迎、 病院等への送迎用タクシーチケット発行(雲の上いきいきチケット) スクールバス事業(小学校が3校→1校に統合したことに伴う)</p> <p>平成23年3月 ゆすはらふっとわーく推進協議会 設置 4月 NPO法人「絆」設立(初瀬区長 矢野氏が理事長) 5月 公共交通空白地有償運送業務開始</p> <p>→利用者からはおおむね好評。 タクシー事業者からの不満もなし(平成24年3月時点)</p>			

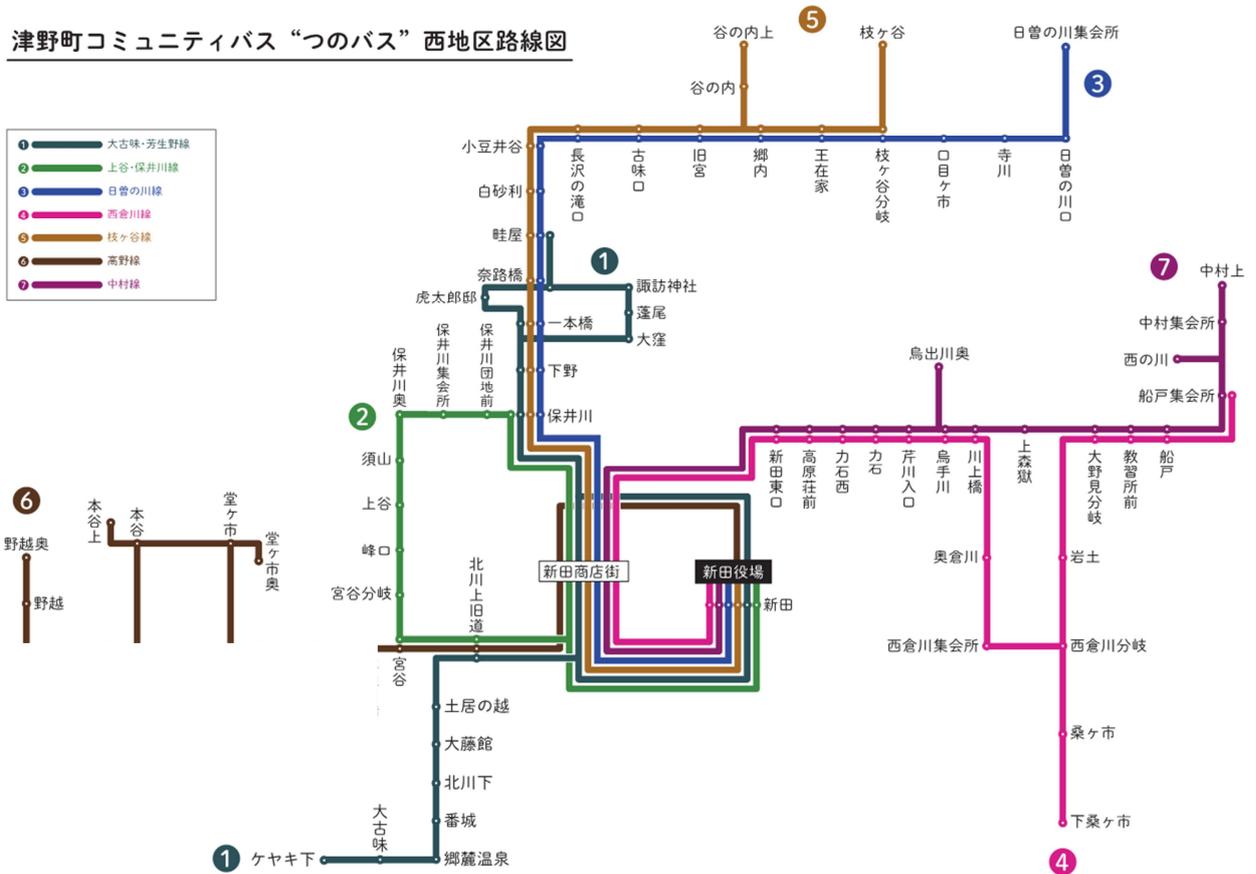
津野町		導入形態	市町村運営有償運送（交通空白輸送）	
		導入地区 （導入開始）	町内全域17路線（R元.10月）	
運行主体	津野町 ※東地区：（有）葉山ハイヤー、西地区：（有）新田ハイヤーに運行委託			
運行台数	10人乗り車両 4台（町所有車両を（有）葉山ハイヤーへ2台、（有）新田ハイヤーへ2台を無償貸与）			
運行日・ 運行ルート	■東地区（11路線） 月曜日：3路線 火曜日：4路線 水曜日：2路線 木曜日：2路線 金曜日：2路線 ■西地区（9路線） 月曜日：1路線 火曜日：2路線 水曜日：2路線 木曜日：2路線 金曜日：2路線 ※週1回1日4往復運行（一部週2回、3.5往復運行）。定時定路線 ※土曜日、日曜日は運休、祝日は運行 ※国道197号沿いは高知高陵交通路線バス停を利用、それ以外はバス停を設置、全て乗降自由区間。			
運賃	普通運賃 未就学児 無料、大人・小人（小学生以上）乗車1回につき100円 回数乗車券 100円券12枚綴り 1,000円			
協議機関	津野町地域公共交通会議 （町、住民代表、交通事業者、高知運輸支局、県 警察署、町社会福祉協議会等）			
財源対策	中山間地域生活支援総合補助金（移手段確保支援事業）、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、過疎債			
利用実績				
■令和元年度（期間：H30.10月～R元.9月）				
	区 分	東地区	西地区	合計
	利用者合計	4,894人	2,154人	7,048人
	運賃収入	489,400円	215,400円	704,800円
	運行委託料	11,905,300円	111,875,600円	23,780,900円
運行に至った経過・作業等				
<p>高齢化等による交通弱者の増加、民間路線バスの廃止及び休止、地域商店の廃業、町内外への通院などにより、町内公共交通の利便性の低下が課題となっていた。</p> <p>【H27年】10月～ 公共交通再編に向け基本方針策定への取組開始 ●公共交通再編可能性調査（現状調査、現地実走調査、高齢者等ヒアリング、基本方針まとめ・評価）</p> <p>【H28年】3月 公共交通再編の基本方針策定 4月 地域公共交通網形成計画（再編計画）策定への取組開始 ●地区別意見交換会開催、交通事業者等ヒアリング、高齢者等意識調査、試行運行計画策定、試験運行準備等 11月～ コミュニティバス試験運行開始（町運行：町内20路線） ●地区別意見交換会開催、試験運行利用状況調査、評価・検証・改善等</p> <p>【H29年】8月 津野町地域公共交通網形成計画策定 9月 津野町コミュニティバス条例制定 10月～ コミュニティバス本格運行開始 ●地区別意見交換会開催、利用状況調査、評価・検証・改善等</p> <p>【H30年】4月 コミュニティバス路線ダイヤ見直し変更 【R元年】10月 コミュニティバス路線再編</p>				
今後に向けての課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加 ・路線ダイヤ見直し（デマンド方式検討） ・車両の更新 				

運行路線図

津野町コミュニティバス“つのバス”東地区路線図



津野町コミュニティバス“つのバス”西地区路線図



四万十町		導入形態	路線バス（民営）		
		導入地区 （導入開始）	①十和地区：H23.9月～4路線 H24.8月～+2路線 ②大正地区：H24.10月～3路線 ③窪川地区：H25.12月～6路線 ④ " H27.2月～4路線		
運行主体	①③④株式会社 四万十交通 ②有限会社 丸三ハイヤー ※基本的には運行地域の路線バス業者（既存バスの見直しを含むため）				
運行台数	①12人乗り車両/2台 ②10人乗り車両/1台 ③12人乗り車両/1台 ④25人乗り車両/1台				
運行日・ 運行ルート	※別紙 運行ルート図 参照。 ※いずれの路線も、JR予土線停車駅や診療所へのアクセス、買い物等を意識したダイヤで運行。				
運賃	一回の乗降で 100円				
協議機関	四万十町地域公共交通会議（町、住民代表、交通事業者、運行主体、高知運輸支局 等）				
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）				
利用実績					
年度		十和地区	大正地区	窪川地区	
H28	輸送人員	5,433人	2,615人	12,669人	
	運賃収入	820,332円	261,500円	1,517,736円	
	運行委託料	7,932,140円	5,112,568円	9,668,430円	
H29	輸送人員	5,611人	2,287人	12,794人	
	運賃収入	907,071円	228,700円	1,746,677円	
	運行委託料	8,782,953円	5,235,575円	10,784,933円	
H30	輸送人員	5,272人	2,198人	12,657人	
	運賃収入	770,139円	219,600円	1,608,670円	
	運行委託料	8,942,607円	5,524,948円	12,305,834円	
※平成25年度窪川地区の運行期間は平成25年12月～平成26年3月の4ヵ月間。（試験期間につき運賃無料。） ※平成26年度窪川地区第1期の平成26年4月～9月の6ヵ月間は実証運行期間。（試験期間につき運賃無料。） ※平成26年度窪川地区第2期の平成27年2月～3月の2ヵ月間は実証運行期間。（試験期間につき運賃無料。） ※平成27年度窪川地区第2期の平成27年4月～9月の6ヵ月間は実証運行期間。（試験期間につき運賃無料。）					
運行に至った経過・作業等					
(H20年)	9月	第1回地域公共交通会議開催			
(H21年)	1～3月	利用実態アンケート調査 地域座談会（3ヶ所）、事業者ヒアリング実施 四万十町生活交通再編基本方針お酔い行動計画策定			
(H23年)	2～8月	十和地域での実証運行開始			
	9月	4路線の本格運行開始			
(H24年)	8月	2路線の本格運行開始			
	10月	大正地域3路線の本格運行開始			
	3月	窪川地域生活交通再編計画の策定			
(H25年)	12月	窪川地域6路線の実証運行開始			
(H26年)	10月	窪川地域6路線の本格運行開始			
(H27年)	2月	窪川地域4路線での第2期実証運行開始			
	10月	窪川地域4路線の本格運行開始			
今後に向けての課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・財源の確保 ・バス停までも移動できない方への対応（福祉車両、福祉タクシー券の充実等） ・既存バス（路線、スクールバス、病院バス）との調整 ・外出機会の創出 ・タクシー事業者への影響（デマンドの導入検討） 					

十和地区

十和地区コミュニティバス

— より便利に！ 8月より大きく運行が変わります —

四万十町の元氣につなげるといふ

- ◎ ほぼ全ての路線で運行ダイヤが変更となります。
- ◎ 広井線の運行経路を大きく変更します。新たに北の川方面に運行しますが、一部に運行休止区間もあります。
- ◎ 大道線は、向畑への予約運行（番所谷→向畑間）を開始します。

令和 元年
8月1日 (木)
運行便より



大正地区



予工線や道川内行き道路/バスに乗り継ぎができるダイヤとなっています。

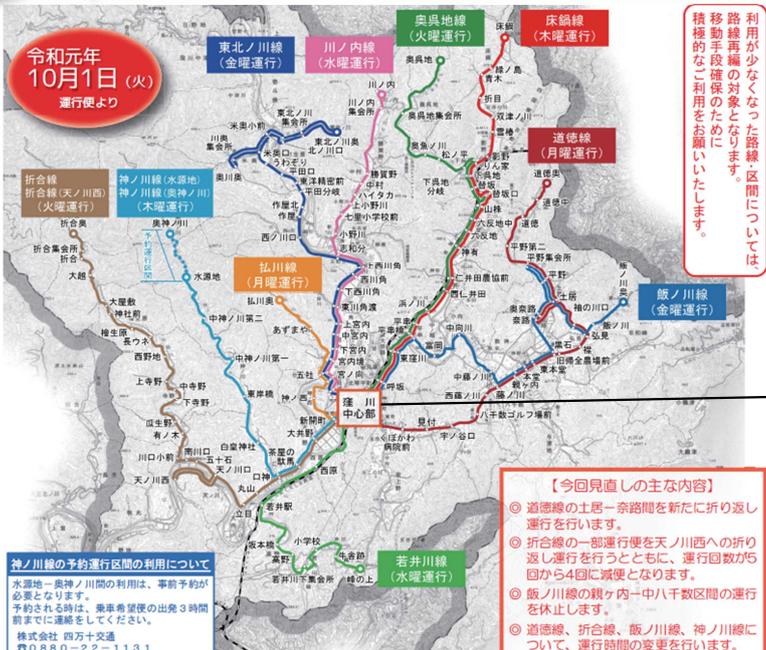


四万十町の元氣につなげるといふ

窪川地区コミュニティバス

— 道徳線・折合線・神ノ川線・飯ノ川線で運行が変わります —

令和元年
10月1日 (火)
運行便より



利用者が少なくなった路線区間については、路線再編の対象となります。移動手段確保のために、積極的なご利用をお願いします。

- 【今回見直しの主な内容】
- ◎ 道徳線の土居→奈路間を新たに折り返し運行を行います。
 - ◎ 折合線の一部運行便を天ノ川西への折り返し運行を行うとともに、運行回数が5回から4回に減便となります。
 - ◎ 飯ノ川線の観ヶ内→中八千数区間の運行を休止します。
 - ◎ 道徳線、折合線、飯ノ川線、神ノ川線について、運行時刻の変更を行います。

窪川地区



黒潮町	導入形態	路線バス（民営）	
	導入地区 （導入開始）	町内全域7路線 2区域運行 ※H24.4月～川奥地区・市野々川地区で新規路線運行。 ※H25.5月～北郷加持エリアでエリアデマンドバスを運行。 ※H31.3月～かきせエリアでエリアデマンドバスを運行。	
運行主体	佐賀地区：(株)四万十交通 大方地区：高知西南交通(株)		
運行台数	9台（(株)四万十交通2台 高知西南交通(株)7台）		
運行日・ 運行ルート	※別紙 バス路線網図 参照 ・北郷加持エリアデマンドバス （運行日）月・水・金曜日（5往復／1日） （運行形態）区域運行（自宅近く⇄土佐くろしお鉄道入野駅周辺） ・かきせエリアデマンドバス （運行日）月・水・金曜日（3往復／1日） （運行形態）区域運行（自宅近く⇄土佐くろしお鉄道入野駅周辺）		
運賃	距離制 ※割引制度：障害者割引（身体・精神・療育）、小人割引 ※北郷加持エリアデマンドバス、かきせエリアデマンドバス：1乗車100円		
協議機関	黒潮町地域公共交通活性化協議会		
財源対策	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）、 高知県公共交通活性化支援事業費補助金、特別交付税、過疎対策事業債		
利用実績			
※路線バス			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
乗車人員	17,475人	17,290人	16,188人
運賃収入	4,736,893円	5,027,060円	4,455,118円
運行補助金	32,639,000円	32,535,000円	36,442,000円
※エリアデマンドバス			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
運行日数	月・水・金曜日	月・水・金曜日	月・水・金曜日
運行便数	1日5往復 （予約のあった時のみ運行）	1日5往復 （予約のあった時のみ運行）	1日5往復 （予約のあった時のみ運行）
利用者数	1,566人	2,346人	1,125人
運行費用	3,592千円	3,666千円	3,554千円
運行に至った経過・作業等			
(H21年)2月 黒潮町地域公共交通活性化協議会 設立 10～12月 ・バス利用実態調査 ・全世帯アンケート調査 ・地区懇談会（ワークショップ）：旧小学校区を基本とした19会場で開催 (H22年)3月 「黒潮町地域公共交通総合連携計画」完成 初年度事業として、交通空白地域の解消を目標とした、路線バスの実証運行を計画 (H23年)1～3月 市野々川地区～佐賀駅、川奥地区～佐賀駅で路線バスの実証運行 同時に乗車状況調査、利用者アンケート調査、住民アンケート調査を実施 7～H24.2月 川奥～（拳ノ川・市野々川）～佐賀線・佐賀かしま荘で路線バスの実証運行 (H24年)4月 本格運行開始 (H25年)5月 大方地区・大井川線で「北郷加持エリアデマンドバス」の実証運行開始 8月 北郷加持エリア（6集落）でデマンドバスに関する意見交換会を開催 (H26年)4月 「北郷加持エリアデマンドバス」の本格運行開始 (H31年)12月 かきせエリア（3集落）でデマンドバスに関する説明会を実施。 3月 「かきせエリアデマンドバス」の実証運行開始。			
今後に向けての課題			
・町内フィーダー線の再編（運行モードの見直し） ・町内市街地への2次交通の導入検討（循環型路線バス） ・バス運賃設定の見直し（100円刻み運賃の導入） ・町内スクールバスの再編			

運行路線図



枝線（フィーダー） 月・水・金
 ①北郷加持エリアデマンド
 ②川奥～佐賀（かしま荘）線
 ③かきせエリアデマンド

枝線（フィーダー） 月～土
 ①森ノ下～入野線
 ②伴太郎～入野線

貸切契約 月～土
 ①米原～灘～上川口小～入野
 ※灘～上川口小区間はスクールバス

幹線 毎日運行
 ①中村駅～佐賀駅線
 ②窪川駅～佐賀線
 ③中村駅～田野浦（出口）～入野駅線